



福岡医発第2066号(地)
平成23年 1月19日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 松田 峻一良
(公 印 省 略)

「じん肺健康診断及びじん肺管理区分の決定における DR(FPD)写真
及び CR 写真の取扱い等について」の一部改正について

じん肺健康診断及びじん肺管理区分の決定（以下、「じん肺健康診断等」）において DR（FPD）写真及び CR 写真を用いる場合については、別紙1・別紙2となっておりますが、今般、専門家による検討により、じん肺健康診断等において適正に使用することができる撮像表示条件が新たに追加され、これを踏まえ、じん肺健康診断等に用いる DR(FPD)写真及び CR 写真である場合の留意事項が一部改正された旨、福岡労働局より別添のとおり連絡が参りましたのでお知らせいたします。

つきましては、下記についてご了解いただくとともに、貴会会員への周知方についてご高配賜りますようお願い申し上げます。

記

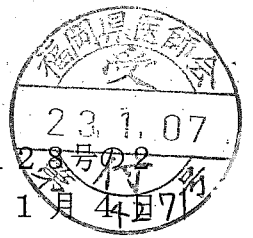
- 1) じん肺健康診断等において、DR(FPD)写真及び CR 写真を用いる場合の各種条件を示した「じん肺健康診断等のための DR(FPD)撮像表示条件」、「DR(FPD)撮像表示条件確認表」及び「CR 撮像表示条件確認表」を、それぞれ、労働局通知文中の別紙1及び別紙2に改めたこと。
- 2) 「じん肺健康診断等のための DR(FPD)撮像表示条件」及び「DR(FPD)撮像表示条件確認表」については、じん肺健康診断等において適正に使用するこ

小郡三井医師会より

医療保険担当理事 山下拓郎
会長 蒲池 壽

とができる撮像表示条件として、キャノン③、ケアストリームヘルス、マイテックが追加されたこと。その他、従来示してきた撮像表示条件については変更がないことから、これらの条件で撮影された DR (FPD) 写真については、従前の確認表を用いても差し支えないこと。

- 3) 「CR 撮像表示条件確認表」の変更点は、メーカーの記載順等、書式に関するもののみであり、従来示してきた撮影表示条件には変更点がないことから、これらの条件で撮影された CR 写真については、従前の確認表を用いても差し支えないこと。



福岡労基収第128号の2
平成23年1月4日

福岡県医師会長 殿

福岡労働局労働基準部長

「じん肺健康診断及びじん肺管理区分の決定におけるDR（FPD）写真及びCR写真の取扱い等について」の一部改正について

平素より労働基準行政の推進につきましては、日頃より格別のご協力、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、じん肺健康診断及びじん肺管理区分の決定（以下「じん肺健康診断等」という。）においてDR（FPD）写真及びCR写真を用いる場合については、平成22年7月12日付け福岡労基収第65号の3「じん肺健康診断及びじん肺管理区分の決定におけるDR（FPD）写真及びCR写真の取扱い等について」により、その条件を通知していたところです。

今般、専門家による検討により、じん肺健康診断等において適正に使用することができる撮像表示条件が新たに追加され、これを踏まえ、じん肺健康診断等に用いるDR（FPD）写真及びCR写真である場合の留意事項等が一部改正されました。

つきましては、下記について、会員の方々に周知していただきますようお願い申し上げます。

記

1. じん肺健康診断等において、DR（FPD）写真及びCR写真を用いる場合の各種条件を示した「じん肺健康診断等のためのDR（FPD）撮像表示条件」、「DR（FPD）撮像表示条件確認表」及び「CR撮像表示条件確認表」を、それぞれ別添、別紙1及び別紙2に改めたこと。
2. 「じん肺健康診断等のためのDR（FPD）撮像表示条件」及「DR（FPD）撮像表示条件確認表」については、じん肺健康診断等において適正に使用することができる撮像表示条件として、キャノン③、ケアストリームヘルス、マイテックが追加されたこと。その他、従来示してきた撮像表示条件については変更がないことから、これらの条件で撮影されたDR（FPD）写真については、従前の確認表を用いても差し支えないこと。
3. 「CR撮像表示条件確認表」の変更点は、メーカーの記載順等、書式に関するもののみであり、従来示してきた撮像表示条件には変更点がないことから、これらの条件で撮

影されたCR写真については、従前の確認表を用いても差し支えないこと。

- 添付資料
- 1 じん肺健康診断等のためのDR（FPD）撮像表示条件
 - 2 DR（FPD）撮像表示条件確認表
 - 3 CR撮像表示条件確認表

(別添)

じん肺健康診断等のための DR(FPD) 撮像表示条件

1 撮影条件:

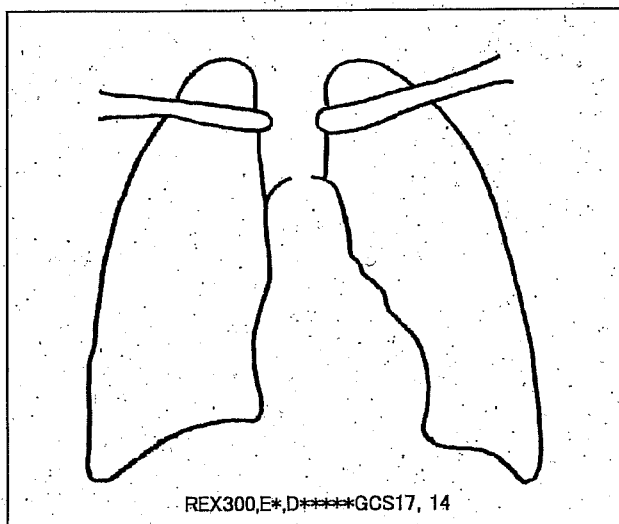
電圧	110～140 [kV]
焦点被写体間距離	180～200 [cm]
出力サイズ	ライフサイズ (半切または大角フィルム)
撮影倍率	等倍撮影 (縮小撮影は認めない)
撮影条件表示	出力フィルムに「メーカー毎画像処理条件」が分かるように表示すること (メーカー毎に後述)
グリッド	限定しない (じん肺診査ハンドブックのグリッドの条件にも制約されない)
空間分解能	限定しない

2 画像処理条件(一般的表記):

階調処理	肺野部の最高濃度を 1.6～2.0 程度とすること
周波数処理	マルチ周波数等処理を行わないこと

3 メーカー毎画像処理条件 (50 音順):

キヤノン①	パラメータ	撮像表示条件
	E	*あるいは1
	D	*****
	対応濃度 (GCS に続く数値)	17～20
	コントラスト (上記に続く数値)	14～17



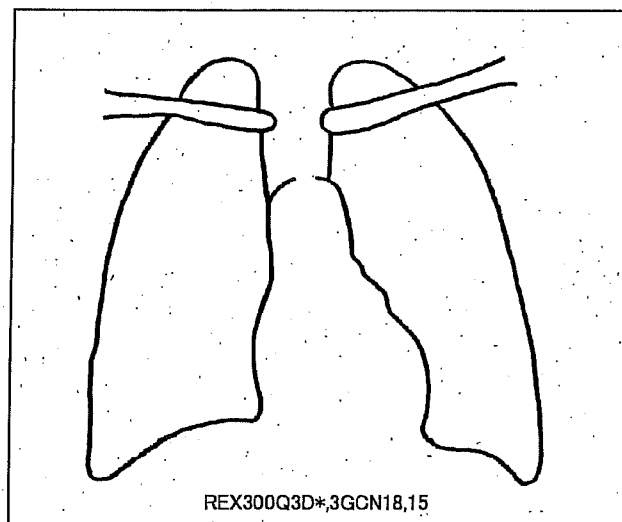
表示場所: 可変

表示例:

例えば写真中央下部などに
「REX300, E*, D***** GCS17, 14」などと
表示される。

REX に続く数値は条件には関係なく、
E は*あるいは1, D は*****と表示され、
GCS の後は 17～20, 14～17 の幅で表示される。

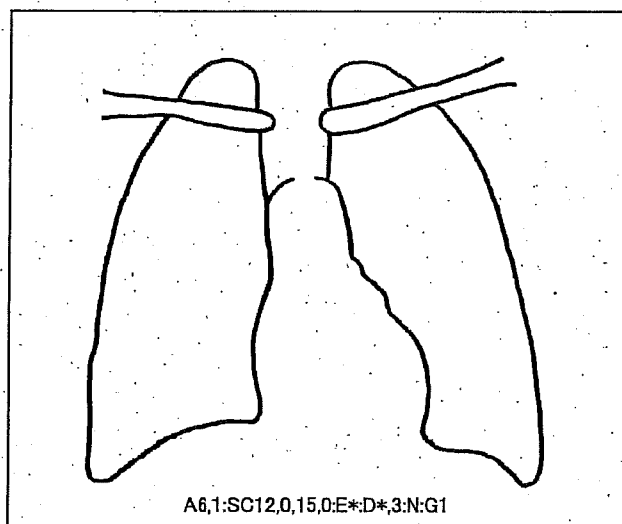
キヤノン②	パラメータ	撮像表示条件
	強調度	OFF
	強調周波数	OFF
	ノイズ低減	OFF
	ダイナミックレンジ調整 (高濃度)	OFF
	ダイナミックレンジ調整 (低濃度)	0~3
	対応濃度	17~20
	コントラスト	14~17



表示場所: 可変
 REX に続く数値は条件に関係なく Q3 は固定。
 ダイナミックレンジ圧縮 (低濃度) を
 使用する場合には D に続いて
 ,1、,2、*,3 などと表示され、
 GCN の後は 17~20、14~17 の幅で表示される。

表示例:
 例えば写真下部などに
 「REX300Q3GCN17,14」
 「REX300Q3D*,1GCN17,14」
 「REX300Q3D*,2GCN18,15」
 「REX300Q3D*,3GCN17,15」
 などと表示される。

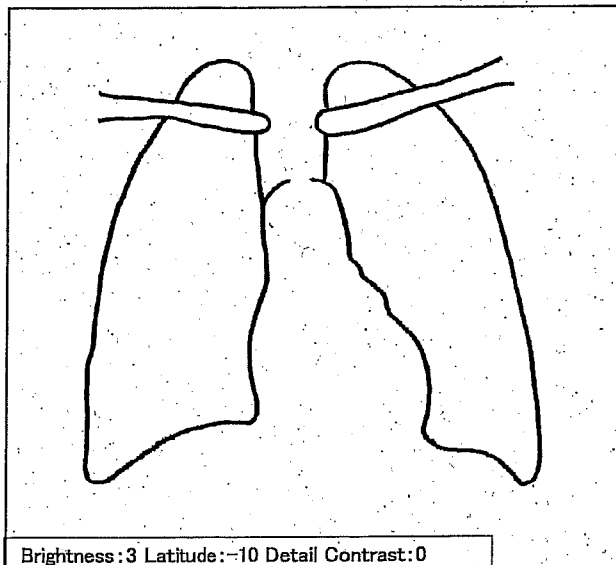
キヤノン③	パラメータ	撮像表示条件
	強調度	OFF
	強調周波数	OFF
	ノイズ低減	OFF
	ダイナミックレンジ調整 (高濃度)	OFF
	ダイナミックレンジ調整 (低濃度)	0~3
	輝度	13~10
	コントラスト	14~17



表示場所: 可変

表示例:
 例えば写真下中央部などに
 「A6,1:SC12,0,15,0:E*:D*,3:N:G1」などと
 表示される。
 SC に続く数字が輝度、その2つ後に
 コントラストが表記される。
 ダイナミックレンジ圧縮 (低濃度) は、
 D*, の後に数字が表示される。

ケアストリーム ヘルス	パラメータ	撮像表示条件
	Brightness	(下記)
	Latitude	
	Detail Contrast	



表示場所: 可変

表示例:

例えば写真左下部などに

Brightness:3 Latitude:-10 Detail Contrast:0

のように表示される。

ここで表示されるパラメータは

ア～キのいずれかでなくてはならない。

ア Brightness:3 Latitude:-10～-7 Detail Contrast:0

イ Brightness:3 Latitude:-7 Detail Contrast:-1

(イは DR 圧縮・非圧縮とも可)

ウ Brightness:3 Latitude:-7 Detail Contrast:-2

エ Brightness:3 Latitude:-6 Detail Contrast:0

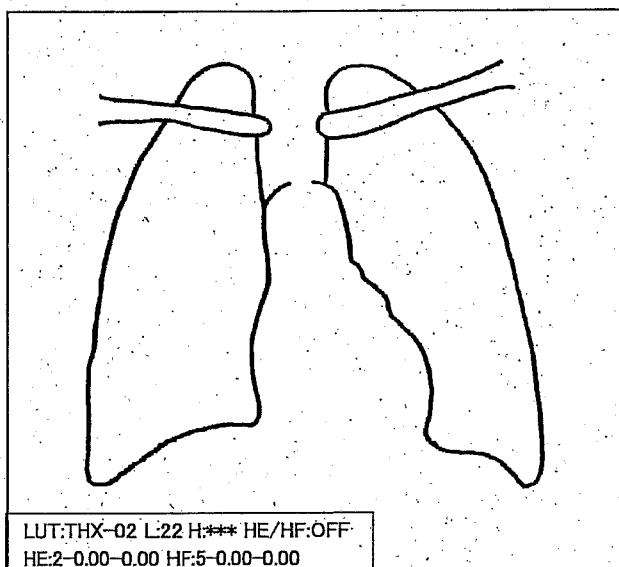
オ Brightness:3 Latitude:-10～-8 Detail Contrast:1

カ Brightness:3 Latitude:-10 Detail Contrast:2

キ Brightness:3 Latitude:-4 Detail Contrast:-1

(キは DR 圧縮のみ可)

コニカミノルタ エムジ①	パラメータ	撮像表示条件
	肺野濃度 (H)	1.6～1.8
	周波数強調度 (HF)	0.0
	周波数強調タイプ (HF)	OFF
	LUT	THX-2



表示場所: 可変

表示例:

例えば写真左下部などに

検査日時

患者氏名 性別

生年月日 患者 ID

LUT:THX-02 L:22 H:*** HE/HF:OFF

HE:2-0.00-0.00 HF:5-0.00-0.00

のように表示される。

ここで、LUT:の後が LUT の種別を (THX-02 で固定)、
H:の後の***が肺野濃度の 100 倍の数値を示す。

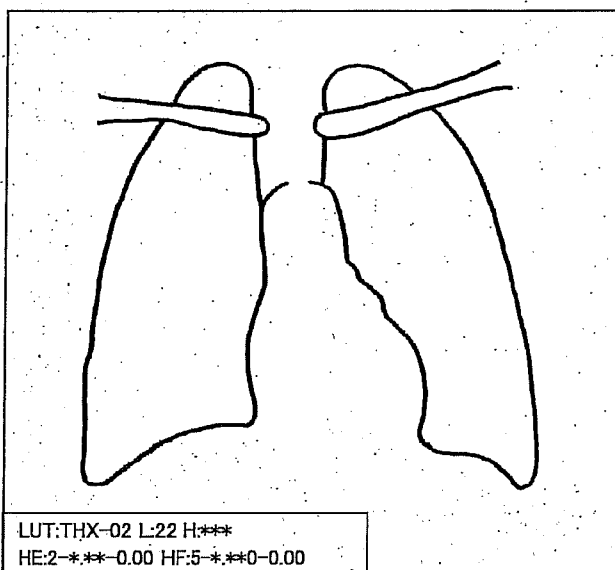
他の数値については、HE/HF は OFF、

HE および HF の値は*-0.00-0.00(*は任意)

でなくてはならない。

なお、L:の後は中央濃度の 100 倍の数値を示す。

コニカミノルタ エムジ②	パラメータ	撮像表示条件
	肺野濃度 (H)	1.6～1.8
	HE タイプ	HE-STANDARD2
	HE 強調度 (低濃度側強調)	0.00～0.30
	HE 強調度 (高濃度側強調)	0.00
	HF タイプ	OFF
	HF 強調度 (低濃度側強調)	0.00
	HF 強調度 (高濃度側強調)	0.00
	LUT	THX-2



表示場所: 可変

表示例:

例えば写真左下部などに

検査日時

患者氏名 性別

生年月日 患者 ID

LUT:THX-02 L:22 H:***

HE:2-***-0.00 HF:5-***0-0.00

のように表示される。

ここで、LUT:の後が LUT の種別を (THX-02 で固定)。

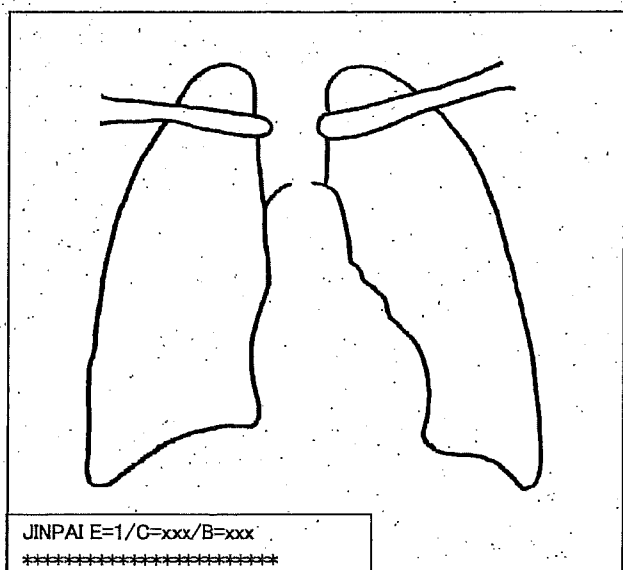
H:の後の***が肺野濃度の 100 倍の数値を示す。

なお、L:の後は中央濃度の 100 倍の数値を示す。

HE の値***の範囲は 0.00～0.30。

HF の値***の範囲は 0.00。

コニカミノルタ エムジ③	パラメータ	撮像表示条件
	Contrast (C)	119～130
	Brightness (B)	152～157
	Edge (E)	1



表示場所: 可変

表示例:

例えば写真左下部に

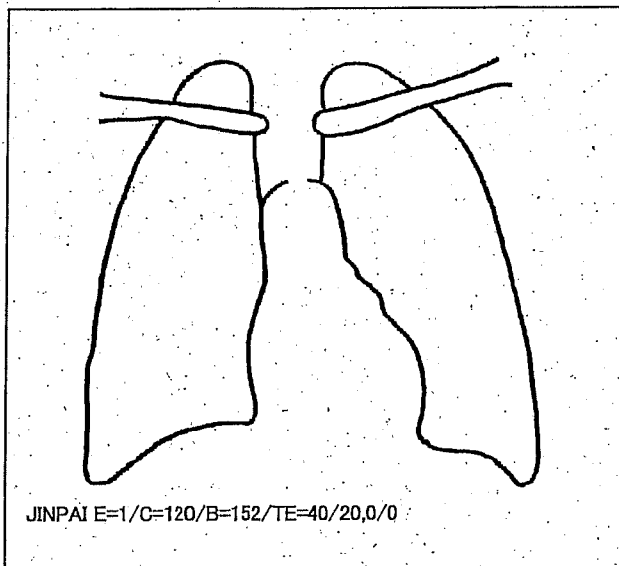
「JINPAI E=1 / C=119 / B=152」

などと表記される。

C は 119～130, B は 152～157 の幅で表示され、

E は 1 と表示される。

コニカミノルタ エムジー④	パラメータ	撮像表示条件
	Contrast (C)	119~130
	Brightness (B)	152~157
	Edge (E)	1
	Tissue Equalization (TE)	0~40/0~20, 0/0



表示場所: 可変

表示例:

例えば写真左下部に

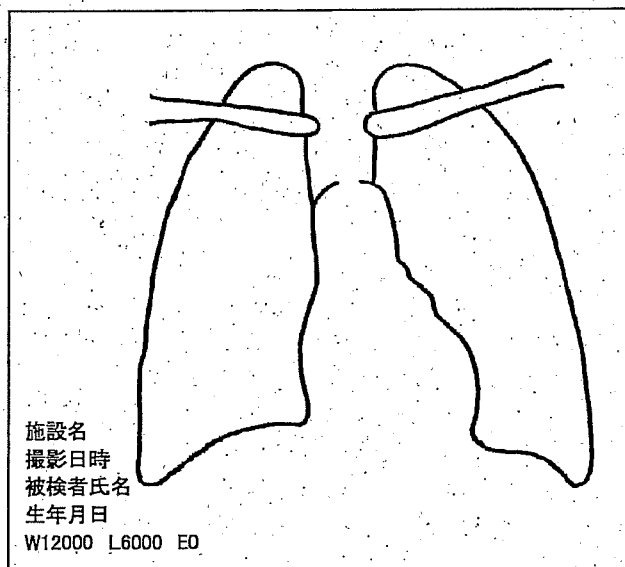
「JINPAI E=1/C=120/B=152/TE=40/20,0/0」

などと表記される。

C は 119~130, B は 152~157 の幅で表示され,
E は 1 と表示される。

TE は、0~40/0~20,0/0 と表示される。

島津製作所①	パラメータ	撮像表示条件
	W	11500~12500
	L	6000~6500
	E	0



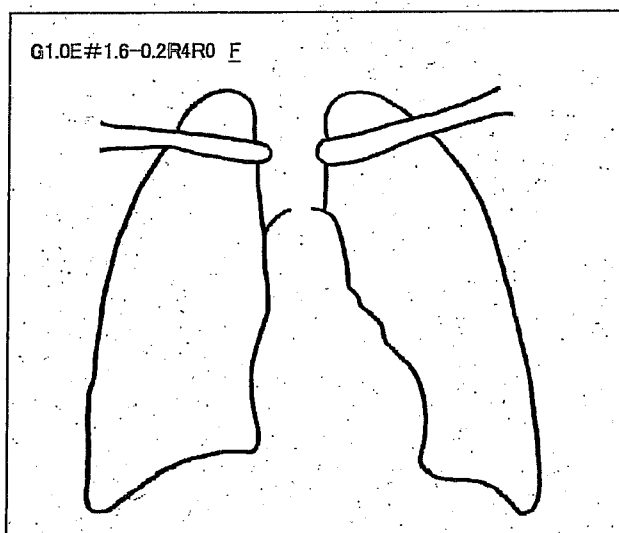
表示場所: 写真左下部

表示例:

例えば「W12000 L6000, E0」などと出力される。

W は 11500~12500, L は 6000~6500 の幅で
表示され, E は 0 と表示される。

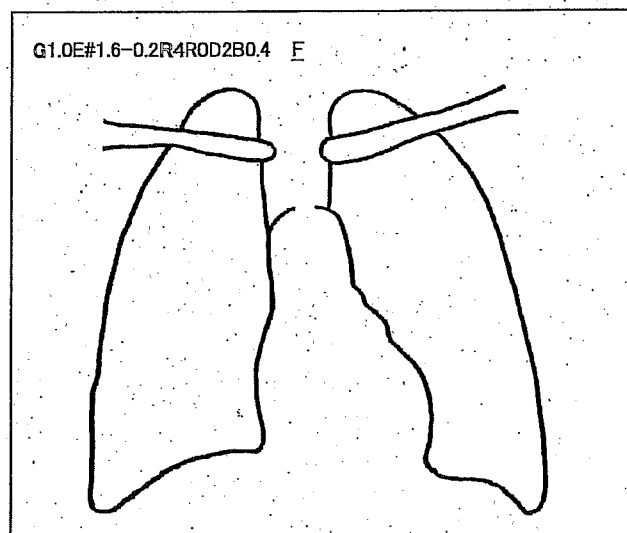
島津製作所②	パラメータ	撮像表示条件
	GA (回転量)	0.9~1.0
	GS (階調シフト)	-0.2~-0.1
	RN (周波数ランク)	4
	RE (周波数強調度)	0
	CRF (鮮鋭度フィルター)	F



表示場所: 可変

表示例:
例えば写真左上部などに
「G1.0E#1.6-0.2R4R0 F」
などと表示され、
「G(GA)#1.6(GS)R(RN)R(RE) (CRF)」
に対応する。
GA は 0.9~1.0、GS は-0.1~-0.2 の幅で
表示される。

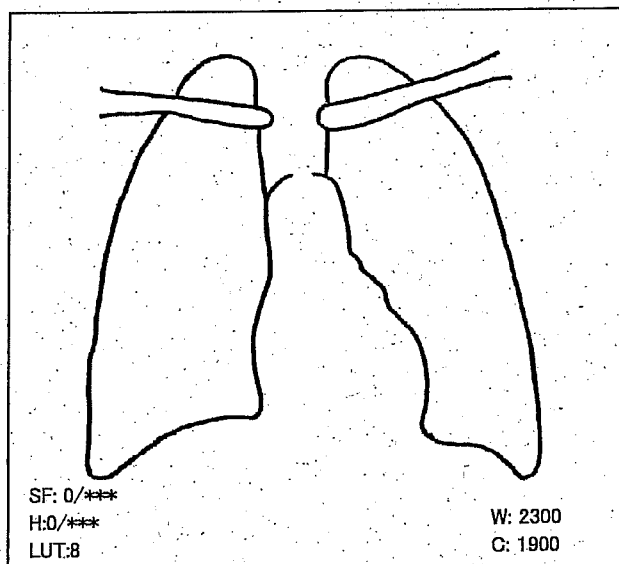
島津製作所③	パラメータ	撮像表示条件
	GA (回転量)	0.9~1.0
	GS (階調シフト)	-0.2~-0.1
	RN/MRB (周波数ランク)	4/C
	RE/MRE (周波数強調度)	0/0
	CRF (鮮鋭度フィルター)	F
	DRN/MDB	2/A
	DRT/MDT	B/B
	DRE/MDE	0.0~0.6/0.0~0.6



表示場所: 可変

表示例:
例えば写真左上部などに
「G1.0E#1.6-0.2R4R0D2B0.4 F」などと表示され、
「G(GA)E#1.6(GS)R(RN)R(RE)D2B(DRE) (CRF)」
に対応する。
GA は 0.9~1.0、GS は-0.1~-0.2、
DRE は 0.0~0.6 の幅で表示される。

シーメンス旭 メディテック	パラメータ	撮像表示条件
	SF	0/***
	H	0/***
	LUT	8
	W	2300~3300
	C	1900~2300

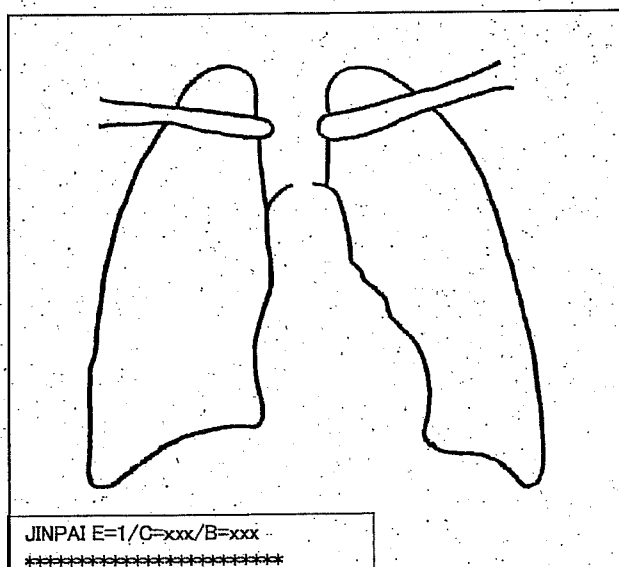


表示場所: フィルム面の左下と右下

表示例:

SF は 0/***、H は 0/***と表示され、
W は 2300~3300、C は 1900~2300 の幅で表示される。

GE ヘルスケア・ ジャパン①	パラメータ	撮像表示条件
	Contrast (C)	119~130
	Brightness (B)	152~157
	Edge (E)	1



表示場所: 可変

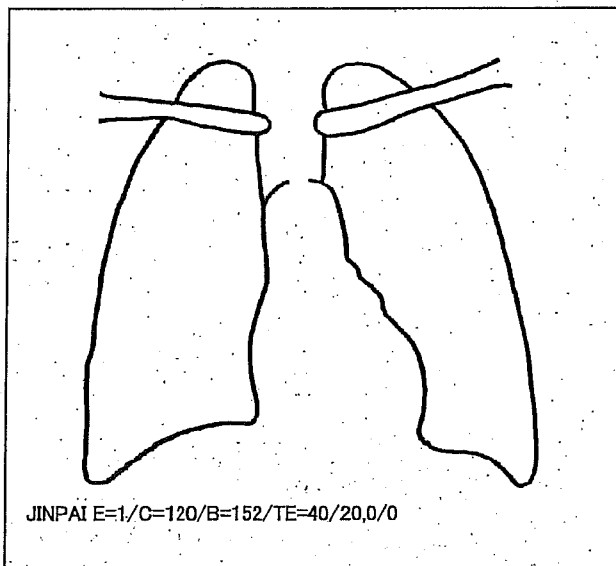
表示例:

例えば写真左下部に
「JINPAI E=1 / C=119 / B=152」

などと表記される。

C は 119~130、B は 152~157 の幅で表示され、
E は 1 と表示される。

GE ヘルスケア・ ジャパン②	パラメータ	撮像表示条件
	Contrast (C)	119～130
	Brightness (B)	152～157
	Edge (E)	1
	Tissue Equalization (TE)	0～40/0～20; 0/0



表示場所: 可変

表示例:

例えば写真左下部に

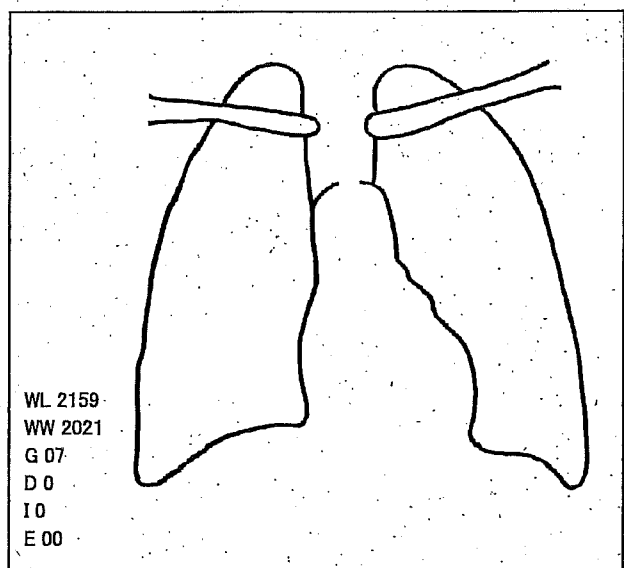
「JINPAI E=1/C=120/B=152/TE=40/20,0/0」

などと表記される。

C は 119～130, B は 152～157 の幅で表示され、
E は 1 と表示される。

TE は、0～40/0～20,0/0 と表示される。

東芝メディカル システムズ	パラメータ	撮像表示条件
	WL	1800～2400
	WW	1200～2800
	G	07
	D	0 or AHOL0～AHOL2 (0 or HOL1～HOL2)
	I (F)	0
	E	00



表示場所: 可変

表示例:

例えば写真左下部に

「WL2159, W2021, G07, DAHOL2, I0, E00」

などと表示される。

WL は 1800～2400、WW は 1200～2800 の幅で
表示され、

G は 07 と表示され、

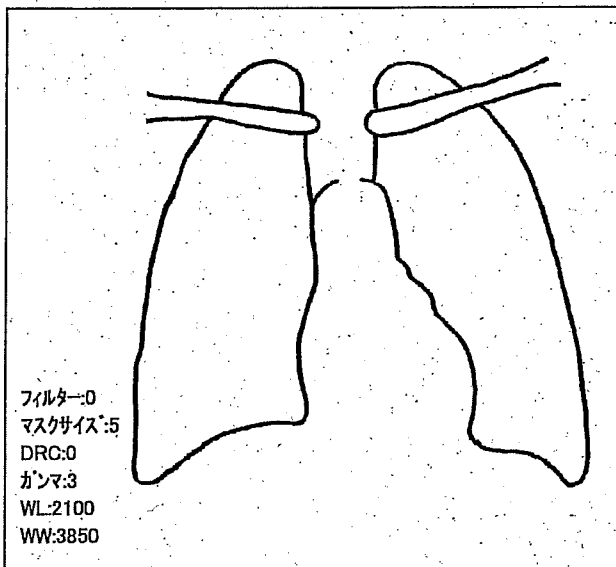
D は 0 あるいは AHOL0～AHOL2 の幅で表示され、

(バージョンにより 0 or HOL1～HOL2 の幅で表示される)

I(バージョンにより F と表示される)は 0、

E は 00 と表示される。

日立メディコ	パラメータ	撮像表示条件
	フィルター	0~3
	マスクサイズ	5
	DRC	0~4
	γ	3
	WL	2100
	WW	3850

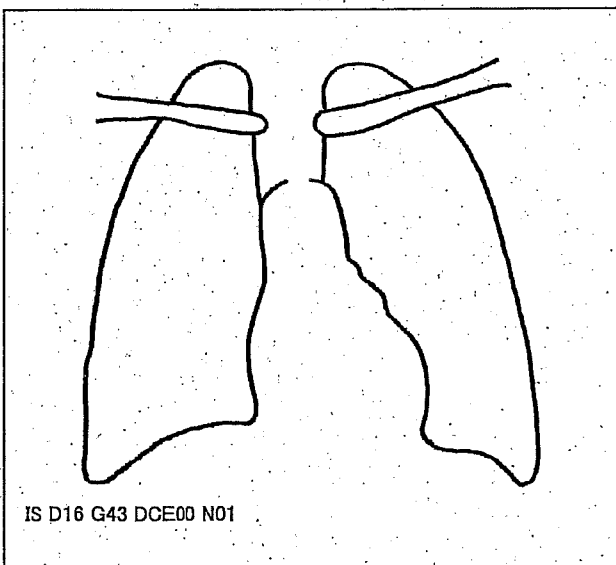


表示場所: 四隅のうちの1箇所

表示例:

フィルターは 0~3 の幅で表示され、
マスクサイズは 5、DRC は 0~4 の幅で表示され、
 γ は 3、WLは 2100、WWは 3850 と表示される。

フィリップス エレクトロニクス ジャパン①	パラメータ	撮像表示条件
	Density (D)	15~17
	Gamma (G)	40~45
	NC (N)	00~03
	DCE	00

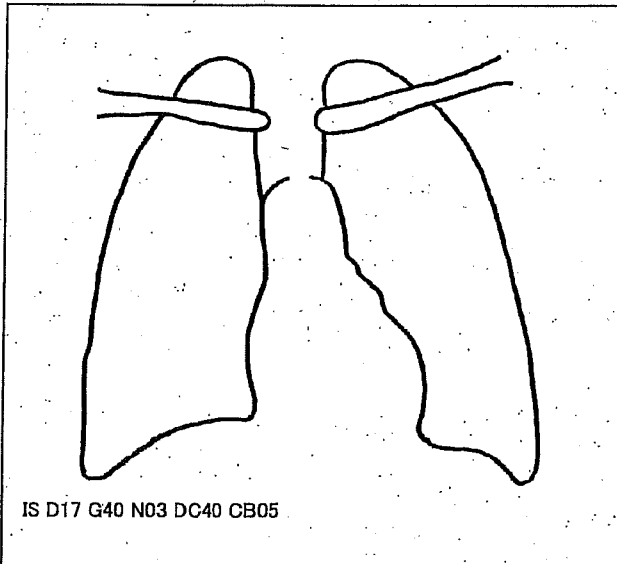


表示場所: 写真下部左

表示例:

例えば「IS D16 G43 DCE00 N01」などと表示される。
D は 15~17、G は 40~45、N は 00~03 の幅で
表示され、DCE は 00 と表示される。

フィリップス エレクトロニクス ジャパン②	パラメータ	撮像表示条件
	Density (D)	15~17
	Gamma (G)	40~45
	NC (N)	00~03
	DC	40~45 (G と同じ値)
	CB	10~05



表示場所：写真下部左

表示例：

例えば「IS D17 G40 N03 DC40 CB05」

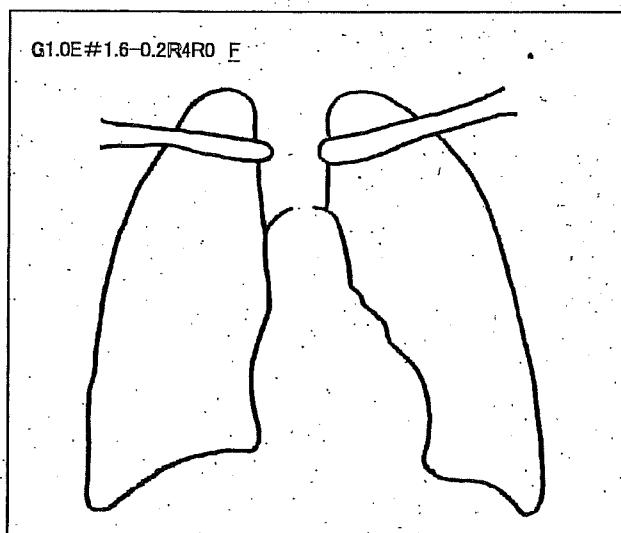
などと表示される。

D は 15~17、G は 40~45、N は 00~03、

DC は G と同じ値で 40~45、

CB は 10~05 の幅で表示される。

富士フイルム①	パラメータ	撮像表示条件
	GA (回転量)	0.9~1.0
	GS (階調シフト)	-0.2~-0.1
	RN (周波数ランク)	4
	RE (周波数強調度)	0
	CRF (鮮鋭度フィルター) ※直接変換型のみに適用	F



表示場所：可変

表示例：

例えば写真左上部などに

「G1.0E#1.6-0.2R4R0 F」

などと表示され、

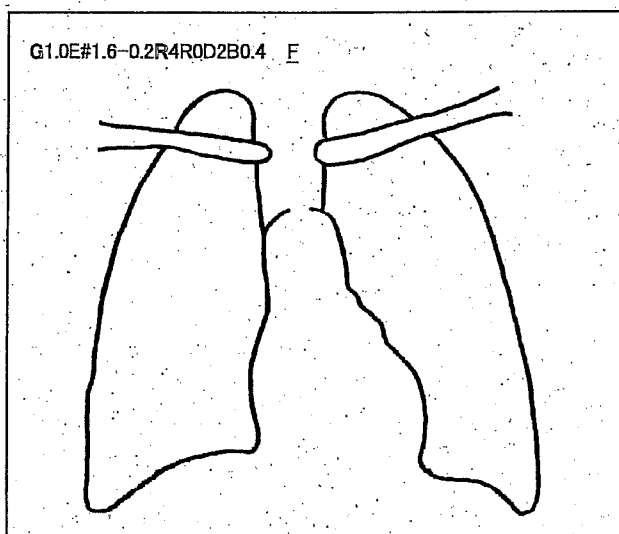
「G (GA) #1.6 (GS) R (RN) R (RE) (CRF)」

に対応する。

GA は 0.9~1.0、GS は -0.1~-0.2 の幅で

表示される。

富士フィルム②	パラメータ	撮像表示条件
	GA (回転量)	0.9~1.0
	GS (階調シフト)	-0.2~-0.1
	RN/MRB (周波数ランク)	4/C
	RE/MRE (周波数強調度)	0/0
	CRF (鮮鋭度フィルター) ※直接変換型のみに適用	F
	DRN/MDB	2/A
	DRT/MDT	B/B
	DRE/MDE	0.0~0.6/0.0~0.6



表示場所: 可変

表示例:

例えば写真左上部などに

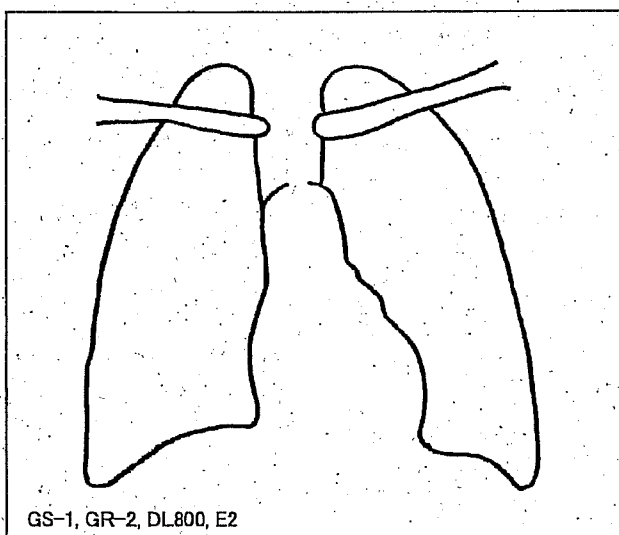
「G1.0E#1.6-0.2R4R0D2B0.4 F」などと表示され、

「G(GA)E#1.6(GS)R(RN)R(RE)D2B(DRE) (CRF)」
に対応する。

GA は 0.9~1.0、GS は -0.1~-0.2、

DRE は 0.0~0.6 の幅で表示される。

マイテック	パラメータ	撮像表示条件
	GS	-2~0
	GR	-4~-1
	E	0~2 (0 は表示無し)
	DL	0, 500, 800 (0 は表示無し)



表示場所: 可変

表示例:

例えば写真左下部に

「GS-1, GR-2, DL800, E2」

などと表示される。

GS は -2~0、GR は -4~-1、

E は 1、2 (0 は表示無し)、

DL は 500、800 (0 は表示無し) と表示される。

DR(FPD)撮像表示条件確認表

申請者名

撮影日 (年 月 日)

撮影条件

	審査受付条件	申請者の撮像表示条件
電圧	110～140 [kV]	
焦点被写体間距離	180～200 [cm]	
出力サイズ	ライフサイズ (半切または大角フィルム)	
撮影倍率	等倍撮影 (縮小撮影は認めない)	
撮影条件表示	出力フィルムにメーカー毎画像処理条件が分かるように表示すること	
グリッド	限定しない (じん肺診査ハンドブックのグリッドの条件にも制約されない)	
空間分解能	限定しない	

画像処理条件 (一般的表記)

	審査受付条件	申請者の撮像表示条件
階調処理	肺野部の最高濃度を 1.6～2.0 程度とすること	
周波数処理	マルチ周波数等処理を行わないこと	

メーカー毎画像処理条件 (50 音順)

メーカー	パラメータ	撮像表示条件	申請者の撮像表示条件
------	-------	--------	------------

キヤノン①	E	*あるいは1	
	D	*****	
	対応濃度 (GCS に続く数値)	17～20	
	コントラスト (上記に続く数値)	14～17	

キヤノン②	強調度	OFF	
	強調周波数	OFF	
	ノイズ低減	OFF	
	ダイナミックレンジ調整 (高濃度)	OFF	
	ダイナミックレンジ調整 (低濃度)	0～3	
	対応濃度	17～20	
	コントラスト	14～17	

キヤノン③	強調度	OFF	
	強調周波数	OFF	
	ノイズ低減	OFF	
	ダイナミックレンジ調整 (高濃度)	OFF	
	ダイナミックレンジ調整 (低濃度)	0～3	
	輝度	13～10	
	コントラスト	14～17	

ケアストリーム ヘルス	※	ア	イ*	ウ	エ	ア・イ・ウ・エ (該当に○)
	Brightness	3	3	3	3	
	Latitude	-10～-7	-7	-7	-6	
	Detail Contrast	0	-1	-2	0	
	※	オ	カ	キ**		オ・カ・キ (該当に○)
	Brightness	3	3	3		
	Latitude	-10～-8	-10	-4		
	Detail Contrast	1	2	-1		

※ア～キいずれかの条件を満たす必要がある。例えばアの条件の場合、Brightness は 3、Latitude は -10～-7 のいずれか、Detail Contrast は 0 である必要がある。イ*は DR 圧縮・非圧縮とも可、キ**は DR 圧縮のみ可。

メーカー	パラメータ	撮像表示条件	申請者の撮像表示条件
コニカミノルタ エムジー①	肺野濃度 (H)	1.6~1.8	
	周波数強調度 (HF)	0.0	
	周波数強調タイプ (HF)	OFF	
	LUT	THX-2	
コニカミノルタ エムジー②	肺野濃度 (H)	1.6~1.8	
	HE タイプ	HE-STANDARD2	
	HE 強調度 (低濃度側強調)	0.00~0.30	
	HE 強調度 (高濃度側強調)	0.00	
	HF タイプ	OFF	
	HF 強調度 (低濃度側強調)	0.00	
	HF 強調度 (高濃度側強調)	0.00	
	LUT	THX-2	
コニカミノルタ エムジー③	Contrast (C)	119~130	
	Brightness (B)	152~157	
	Edge (E)	1	
コニカミノルタ エムジー④	Contrast (C)	119~130	
	Brightness (B)	152~157	
	Edge (E)	1	
	Tissue Equalization (TE)	0~40/0~20, 0/0	
島津製作所①	W	11500~12500	
	L	6000~6500	
	E	0	
島津製作所②	GA (回転量)	0.9~1.0	
	GS (階調シフト)	-0.2~-0.1	
	RN (周波数ランク)	4	
	RE (周波数強調度)	0	
	ORF (鮮鋭度フィルター)	F	
島津製作所③	GA (回転量)	0.9~1.0	
	GS (階調シフト)	-0.2~-0.1	
	RN/MRB (周波数ランク)	4/C	
	RE/MRE (周波数強調度)	0/0	
	CRF (鮮鋭度フィルター)	F	
	DRN/MDR	2/A	
	DRT/MDT	B/B	
	DRE/MDE	0.0~0.6/0.0~0.6	
シーメンス旭 メディテック	SF	0/***	
	H	0/***	
	LUT	8	
	W	2300~3300	
	C	1900~2300	
GE ヘルスケア・ ジャパン①	Contrast (C)	119~130	
	Brightness (B)	152~157	
	Edge (E)	1	
GE ヘルスケア・ ジャパン②	Contrast (C)	119~130	
	Brightness (B)	152~157	
	Edge (E)	1	
	Tissue Equalization (TE)	0~40/0~20, 0/0	

メーカー	パラメータ	撮像表示条件	申請者の撮像表示条件
東芝メディカルシステムズ	WL	1800～2400	
	WW	1200～2800	
	G	07	
	D	0 or AHOL0～AHOL2	
	I (F)	(0 or HOL1～HOL2)	
	E	0	
日立メディコ	フィルター	0～3	
	マスクサイズ	5	
	DRC	0～4	
	γ	3	
	WL	2100	
	WW	3850	
フィリップス エレクトロニクス ジャパン①	Density (D)	15～17	
	Gamma (G)	40～45	
	NC (N)	00～03	
	DCE	00	
フィリップス エレクトロニクス ジャパン②	Density (D)	15～17	
	Gamma (G)	40～45	
	NC (N)	00～03	
	DC	40～45 (Gと同じ値)	
	CB	10～05	
富士フイルム①	GA (回転量)	0.9～1.0	
	GS (階調シフト)	-0.2～-0.1	
	RN (周波数ランク)	4	
	RE (周波数強調度)	0	
	GRF (鮮鋭度フィルター) ※直接変換型のみに適用	F	
富士フイルム②	GA (回転量)	0.9～1.0	
	GS (階調シフト)	-0.2～-0.1	
	RN/MRB (周波数ランク)	4/C	
	RE/MRE (周波数強調度)	0/0	
	GRF (鮮鋭度フィルター) ※直接変換型のみに適用	F	
	DRN/MDR	2/A	
	DRT/MDT	B/B	
	DRE/MDE	0.0～0.6/0.0～0.6	
マイテック	GS	-2～0	
	GR	-4～-1	
	E	0～2 (0 は表示無し)	
	DL	0, 500, 800 (0 は表示無し)	

確認日 (年 月 日)

判定 (適 ・ 否)

CR 撮像表示条件確認表

申請者名

撮影日 (年 月 日)

撮影条件

	審査受付条件	申請者の撮像表示条件
電圧	110～140 [kV]	
焦点被写体間距離	180～200 [cm]	
グリッド	高密度グリッド使用で撮影電圧が 120[kV]前後の時は格子比 12:1 上記以上の撮影電圧の時は格子比 14:1 とすること	
空間分解能 (画素数)	フィルムサイズがフルサイズ(半切)の場合 イメージングプレート読み取り画素数 3500×3500 [pixel] 以上とすること	

画像処理条件

	審査受付条件	申請者の撮像表示条件
階調処理	肺野部の最高濃度を 1.6～2.0 程度とすること	
周波数処理	低空間周波数(0 周波数)成分に対して高周波成分(0.2cycle/mm 以上) におけるレスポンスを 1.0～1.2 倍程度とすること (なお、濃度に応じて周波数応答を変化させる場合であっても、 上記範囲内であること。)	

メーカー毎画像処理条件(50 音順)

メーカー	パラメータ	撮像表示条件	申請者の撮像表示条件
------	-------	--------	------------

ケアストリーム ヘルス①	Density Shift	-0.3	
	Contrast Factor	1.6～1.8	
	Matrix Size	35～75	
	High Density Boost	0.05～0.1	
	Low Density Boost	0～0.05	

ケアストリーム ヘルス②	※	ア	イ	ウ	エ	ア・イ・ウ・エ (該当に○)
	Brightness	6	6	6	7	
	Latitude	-4	-4	-6	-5	
	Detail Contrast	-7	-8	-6	-6	

※ア～エいずれかの条件を満たす必要がある。例えばアの条件の場合、Brightness 6、Latitude -4、Detail Contrast -7 である必要がある。

コニカミノルタ エムジー①	肺野濃度	1.6～1.8	
	強調度	0.1～0.3	
	マスクサイズ	7	
	LUT	THX-2	

コニカミノルタ エムジー②	肺野濃度 (H)	1.6～1.8	
	HE タイプ	HE-STANDARD2	
	HE 強調度 (低濃度側強調)	0.00～0.30	
	HE 強調度 (高濃度側強調)	0.00	
	HF タイプ	HF-STANDARD5	
	HF 強調度 (低濃度側強調)	0.00	
	HF 強調度 (高濃度側強調)	0.00～0.30	
	肺野濃度 (H)	1.6～1.8	

メーカー	パラメータ	撮像表示条件	申請者の撮像表示条件
富士フイルム①	GA(回転量)	0.9~1.0	
	GS(階調シフト)	-0.2~-0.1	
	RN(周波数ランク)	4	
	RE(周波数強調度)	0.0~0.2	
富士フイルム②	GA(回転量)	0.9~1.0	
	GS(階調シフト)	-0.2~-0.1	
	RN/MRB(周波数ランク)	4/C	
	RE/MRE(周波数強調度)	0.0~0.2/0	
	DRN/MDB	2/A	
	DRT/MDT	B/B	
	DRE/MDE	0.0~0.6/0.0~0.6	

確認日 (年 月 日)

判定 (適 否)

別 紙 1

福岡労収基第844号
平成22年7月6日
福岡労収基第845号
平成22年7月6日

健康診断機関の長 殿

福岡労働局長

じん肺法施行規則及び労働安全衛生規則の一部を改正する省令の施行
及びじん肺法における肺機能検査及び検査結果の判定等について

労働基準行政の推進につきましては、日頃より格別のご協力、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、じん肺法施行規則及び労働安全衛生規則の一部を改正する省令（平成22年厚生労働省令第82号。以下「改正省令」という。）が平成22年6月28日に公布され、平成22年7月1日から施行されたところですが、今回の改正は、じん肺法におけるじん肺健康診断のあり方について、最新の医学的知見を基に検討を行い、じん肺健康診断における肺機能検査及び検査結果の判定等に関し、必要な見直しを行ったことを踏まえ、所要の改正が行われたものであります。

つきましては、下記事項について、担当の医師の方々に周知いただきますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

記

I 改正の内容

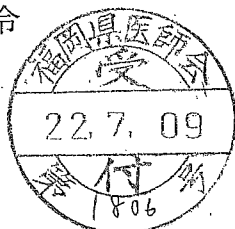
第1 じん肺法施行規則（昭和35年労働省令第6号）の一部を改正する省令

じん肺健康診断結果証明書の様式において、「肺機能検査」に「1秒量予測値」及び「%1秒量」を記入する欄を追加し、「V25/身長」を記入する欄を削除したこと。

また、じん肺健康診断においては、じん肺及びじん肺の合併症の健康管理に役立てるため、喫煙歴の情報を把握することは重要であり、喫煙歴を記入する欄を新たに設ける等様式を変更したこと。（様式第3号関係）

第2 労働安全衛生規則（昭和47年労働省令第32号）の一部を改正する省令

1 様式第8号(2)関係



粉じん作業に係る業務に従事した者に係る健康管理手帳の様式において、4頁及び5頁以降の頁（最後の頁を除く。）の「肺機能検査」の「第1次検査」の欄に「%1秒量」を記入する欄を追加し、「V25/身長」を記入する欄を削除するとともに、「第2次検査」の欄に「酸素分圧」を記入する欄を追加したこと。

2 様式第9号(2)関係

粉じん作業に係る業務に従事した者に係る健康管理手帳による健康診断実施報告書の様式における肺機能検査において「1秒量予測値」及び「%1秒量」を記入する欄を追加し、「V25/身長」を記入する欄を削除したこと。

また、じん肺健康診断においては、じん肺及びじん肺の合併症の健康管理に役立てるため、喫煙歴の情報を把握することは重要であり、喫煙歴を記入する欄を新たに設ける等様式を変更したこと。

第3 肺機能検査及び検査結果の判定等について

じん肺法における肺機能検査及び検査結果の判定等については、平成22年6月28日付け基発0628第6号「じん肺法における肺機能検査及び検査結果の判定等について」において示しているところであり、以下のとおりとする。

1 肺機能検査及び検査結果の判定について

肺機能検査及び検査結果の判定については、以下の内容を基本として行うこと。

(1) 肺機能検査の項目について

じん肺の肺機能検査において、以下の項目及び正常予測値を用いることとする。

ア 拘束性換気障害の指標として%肺活量を用いるとともに、肺活量の正常予測値として、2001年に日本呼吸器学会が提案した予測式を用いること。

2001年に日本呼吸器学会が提案した予測式とは、以下のとおりであること。

男性： $0.045 \times \text{身長 (cm)} - 0.023 \times \text{年齢} - 2.258$ (L)

女性： $0.032 \times \text{身長 (cm)} - 0.018 \times \text{年齢} - 1.178$ (L)

イ 閉塞性換気障害の指標として、1秒率及び%1秒量を用いるとともに、1秒量の正常予測値として、2001年に日本呼吸器学会が提案した予測式を用いること。

2001年に日本呼吸器学会が提案した予測式とは、以下のとおりであること。

男性： $0.036 \times \text{身長 (cm)} - 0.028 \times \text{年齢} - 1.178$ (L)

女性： $0.022 \times \text{身長 (cm)} - 0.022 \times \text{年齢} - 0.005$ (L)

(2) 肺機能検査の結果の判定について

じん肺の肺機能検査の結果において、著しい肺機能障害と判定する基準については、以下のとおりとする。なお、肺機能検査のフローチャートについては、別紙のとおりとする。

ア 肺機能検査の結果、以下の場合、著しい肺機能障害と判定すること。

- ・ %肺活量が60%未満の場合
- ・ 1秒率が70%未満であり、かつ、%1秒量が50%未満である場合
- ・ %肺活量が60%以上80%未満である場合、1秒率が70%未満であり、かつ、%1秒量が50%以上80%未満である場合、または、呼吸困難度が

Fletcher-Hugh-Jones の分類（じん肺診査ハンドブックにおける「Hugh-Jones の分類」）に基づき第 III 度以上である場合であって、動脈血酸素分圧(PaO₂)が 60 Torr 以下であること、または、肺泡気動脈血酸素分圧較差(AaDO₂)が別表の限界値を超えること。

イ フローボリューム曲線の検査から求められる最大呼出位から努力肺活量の 25%の肺気量における最大呼出速度 (V25) については、肺機能検査の結果の判定に用いないこと。

ウ 動脈血ガスの測定に先立って耳朶血の酸素分圧の測定を要しないこと。耳朶血の酸素分圧の測定を行った場合であっても、その結果により動脈血採血を省略し、「著しい肺機能障害がない」と判定しないこと。

エ 呼吸困難度や胸部エックス線写真像については、検査結果の判定にかかる総合的な判断に際して活用すること。

オ その他の検査として、6 分間歩行試験による動脈血酸素飽和度測定を含め、医師が必要と判断して行われた場合や検査結果が提出された場合は、その検査結果を含め、総合的な判断を行うこと。

カ 肺機能検査の結果及び 2 次検査の実施の判定に当たっては、肺機能検査によって得られた数値をアにおいて示した判定基準に機械的にあてはめて判定することなく、粉じん作業の職歴、エックス線写真像、既往歴及び過去の健康診断の結果、自覚症状及び臨床所見、その他の検査等を含めて総合的に判断すること。

キ アにおいて示した判定基準を満たさない場合であっても、医師が総合的な評価に基づいて、著しい肺機能障害の有無の判定を行った場合、その医学的事由をできるだけ詳細に「じん肺健康診断結果証明書」の「医師意見」の欄に記入すること。

ク スパイロメトリー及びフローボリューム曲線による検査結果の妥当性と再現性を確保するため、検査は最低 3 回実施し、このうち最も良好な結果を採用すること。なお、検査の実施が困難な場合は、この限りではない。

ケ 1 次検査により拘束性障害や閉塞性障害が認められないが呼吸困難を呈する場合は、心疾患等の可能性も考慮した上で適切な判断を行うこと。

2 エックス線写真検査について

エックス線写真検査については、「じん肺診査ハンドブック」に記載された内容に加えて、石綿肺の場合、胸部単純エックス線写真において大陰影のみが認められることはないことを踏まえ、石綿肺が疑われ、胸部単純エックス線写真において大陰影のみが認められる場合には、石綿作業を含めた粉じん作業の内容と画像所見を総合的に評価し、じん肺による所見の有無を判定することに留意すること。

3 地方じん肺診査医による診断又は審査における留意事項

じん肺法第 13 条第 2 項（第 15 条第 3 項、第 16 条第 2 項及び第 16 条の 2 第 2 項において準用する場合を含む。以下同じ。）に規定する地方じん肺診査医の診断

又は審査において、じん肺による著しい肺機能障害の可能性がある場合には、肺機能検査の結果をよりの確に評価するため、スパイロメトリー及びフローボリューム曲線の結果や血液ガス測定の結果が記録された検査報告書を確認することに留意すること。

I I 関係通達の整備

第1 昭和53年4月28日付け基発第250号通達の一部改正

上記第3のとおり取り扱うこととすることに伴い、昭和53年4月28日付け基発第250号「改正じん肺法の施行について」の一部を次のように改正する。

第1の2の(3)中「じん肺診査ハンドブック」の下に「(IIの5の(1)及び(4)を除く。)」を加え、「記載された内容」の下に「並びに平成22年6月28日付け基発0628第6号「じん肺法における肺機能検査及び検査結果の判定等について」記中第1の1及び2」を加える。

第2 昭和53年10月13日付け基発第567号通達の廃止

昭和53年10月13日付け基発第567号「じん肺法に基づく肺機能検査の方法及び判定について」は、平成22年6月30日をもって廃止する。

I I I 施行期日及び適用日等

第1 施行期日及び適用日

改正省令及び基発0628第6号平成22年6月28日付け通達は、平成22年7月1日より施行及び適用するものであること。

第2 経過措置

1 じん肺健康診断結果証明書等について

改正省令の施行の際現に交付され、又は提出されている改正前のじん肺法施行規則様式第3号によるじん肺健康診断結果証明書並びに改正前の労働安全衛生規則様式第8号による健康管理手帳及び同令様式第9号による健康管理手帳による健康診断実施報告書は、改正省令による改正後のじん肺法施行規則様式第3号によるじん肺健康診断結果証明書並びに改正後の労働安全衛生規則様式第8号による健康管理手帳及び同令様式第9号による健康管理手帳による健康診断実施報告書とみなすこととしたこと。

2 じん肺管理区分について

この通達の施行前に行ったじん肺法第13条第2項の規定によるじん肺管理区分の決定は、第1の3の(1)の内容を基本として行う肺機能検査及び検査結果の判定によるじん肺管理区分の決定とみなすこと。

～じん肺健康診断の判定基準等が見直され、 健康診断結果等の様式が変わりました～

じん肺健康診断を行う医師、医療機関の方々へ

・・・ 平成22年7月1日施行 ・・・

- じん肺法に基づくじん肺健康診断で実施されている肺機能検査の判定基準等が見直されました。
- じん肺健康診断結果等の様式が一部変更されました。

○肺機能検査の判定基準の見直し

肺機能検査の判定基準等については、以下のとおりとなります。(裏面参照)

- ・閉塞性換気障害の指標として、「1秒率」に加え「%1秒量」を追加
- ・%肺活量、%1秒量について、2001年日本呼吸器学会の予測式を用いて判定
- ・動脈血ガスの指標として、「酸素分圧」を追加

○健康診断結果等の様式の変更

肺機能検査の判定基準の見直しに伴い、「%1秒量」が追加され、「 $\dot{V}25$ /身長」が削除されました。また健康管理に役立てるため、「喫煙歴」が追加されました。

○じん肺健康管理手帳^{※1}の様式の変更

じん肺健康管理手帳の記載欄についても、新たな肺機能検査の指標(%1秒量等)の記載欄が追加されました。

○肺機能検査結果の確認

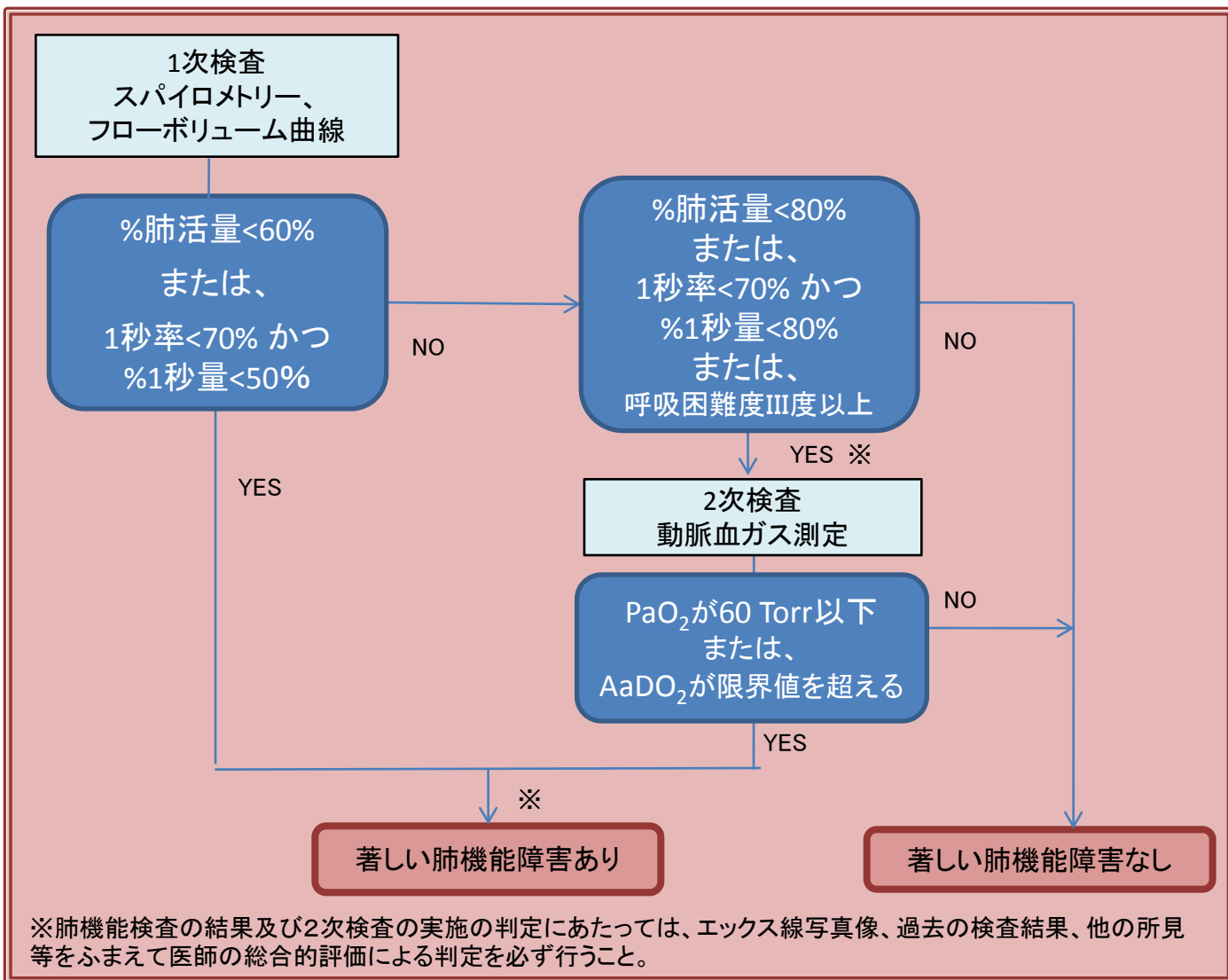
じん肺管理区分決定の申請にあたって、著しい肺機能障害が疑われる場合、肺機能検査の結果の写し等の提出をお願いすることになりました。

※1 粉じん作業に従事していた方で、じん肺管理区分2又は3の方について、離職後、都道府県労働局に申請することにより、健康管理手帳が交付され、健康診断を受けることができる制度です。

※2 じん肺健康診断を行う場合、改正後の「じん肺健康診断結果証明書」や「健康管理手帳」の様式を使用し、見直された判定基準により「著しい肺機能障害」を判定してください。

このパンフレットについてのご質問は、最寄りの都道府県労働局又は労働基準監督署までお問い合わせ下さい。

■ 肺機能検査のフローチャート ■



□ %肺活量(%VC)

2001年日本呼吸器学会の予測式による正常予測値を用いて判定を行います。(※)

(予測式) 男性: $0.045 \times \text{身長(cm)} - 0.023 \times \text{年齢} - 2.258$ (L)

女性: $0.032 \times \text{身長(cm)} - 0.018 \times \text{年齢} - 1.178$ (L)

□ 1秒率(FEV_{1.0%})

従来の限界値ではなく、70%未満が判定基準になります。

□ %1秒量(%FEV_{1.0}) ※同上

(予測式) 男性: $0.036 \times \text{身長(cm)} - 0.028 \times \text{年齢} - 1.178$ (L)

女性: $0.022 \times \text{身長(cm)} - 0.022 \times \text{年齢} - 0.005$ (L)

□ 酸素分圧(PaO₂)

60 Torr 以下が判定基準になります。

□ 肺胞気動脈血酸素分圧較差(AaDO₂)

従来の限界値が判定基準になります。

福岡県医師会長 殿

福岡労働局労働基準部長

じん肺健康診断及びじん肺管理区分の決定におけるDR（FPD）写真及び
CR写真にかかる撮像表示条件確認表について

平素より労働基準行政の推進につきましては、多大なご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、じん肺健康診断及びじん肺管理区分の決定におきましては、じん肺法（昭和35年法律第30号）に基づき、エックス線写真を用いることとされておりますが、今般、厚生労働省が実施した専門家による検討により、従来示してきた撮像表示条件に加え、肺がん等の検出に適したダイナミックレンジ圧縮処理を加えた条件においても、DR（FPD）写真及びCR写真をじん肺健康診断等において適正に使用することができるとの結果が得られたことから、じん肺健康診断等において、DR（FPD）写真及びCR写真を用いて検査を行う場合の当該写真の各種条件が厚生労働省より下記のとおり示されたところです。

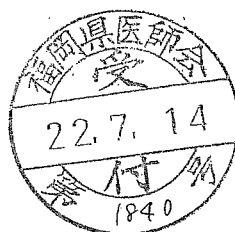
つきましては、会員の方々に周知していただきますようお願い申し上げます。

記

じん肺健康診断等において、DR（FPD）写真及びCR写真を用いて検査を行う場合の当該写真の各種条件については、別紙「DR（FPD）撮像表示条件確認表」、別紙「CR撮像表示条件確認表」に定めるところによること。

なお、DR（FPD）写真については、別添「じん肺健康診断等のためのDR（FPD）撮像表示条件」の内容も踏まえること。

- 添付資料
- 1 DR（FPD）撮像表示条件確認表
 - 2 CR撮像表示条件確認表
 - 3 じん肺健康診断等のためのDR（FPD）撮像表示条件



DR(FPD)撮像表示条件確認表

申請者名

撮影日(. .)

		審査受付条件	申請者の 撮像表示条件
撮影条件			
電圧[kV]		110～140	
焦点被写体間距離[cm]		180～200	
出力サイズ		ライフサイズ (半切又は大角フィルム)	
撮影倍率		等倍撮影 (縮小撮影は認めない)	
撮影条件表示		出力フィルムにメーカー毎 画像処理条件が分かるように 表示すること	
画像処理条件 (一般的表記)			
階調処理 (肺野部の最高濃度)		1.6～2.0程度	
周波数処理		マルチ周波数等処理を行わないこと	
メーカー毎画像処理条件 (50音順)			
パラメータ		撮像表示条件	
① キヤノン	E	*あるいは1	
	D	*****	
	対応濃度 (GCSに続く数値)	17～20	
	コントラスト (上記に続く数値)	14～17	
② キヤノン	強調度	OFF	
	強調周波数	OFF	
	ノイズ低減	OFF	
	ダイナミックレンジ調整 (高濃度)	OFF	
	ダイナミックレンジ調整 (低濃度)	0～3	
	対応濃度 (GCSに続く数値)	17～20	
	コントラスト (上記に続く数値)	14～17	
① エムジータ ミニノルカ	肺野濃度 (H)	1.6～1.8	
	周波数強調度 (HF)	0	
	周波数強調タイプ (HF)	OFF	
	LUT	THX-2	
② エムジータ ミニノルカ	肺野濃度 (H)	1.6～1.8	
	HFタイプ	OFF	
	HF強調度 (低濃度側強調)	0.00	
	HF強調度 (高濃度側強調)	0.00	
	HEタイプ	HE-STANDARD2	
	HE強調度 (低濃度側強調)	0.00～0.30	
	HE強調度 (高濃度側強調)	0.00	
③ エムジータ ミニノルカ	LUT	THX-2	
	Contrast (C)	119～130	
	Brightness (B)	152～157	
	Edge (E)	1	
④ エムジータ ミニノルカ	Contrast (C)	119～130	
	Brightness (B)	152～157	
	Edge (E)	1	
	Tissue Equalization (TE)	0～40/0～20, 0/0	
① 島津製作所	W	11500～12500	
	L	6000～6500	
	E	0	
② 島津製作所	GA (回転量)	0.9～1.0	
	GS (階調シフト)	-0.2～-0.1	
	RN (周波数ランク)	4	
	RE (周波数強調度)	0	
	CRF (鮮鋭度フィルター)	F	
③ 島津製作所	GA (回転量)	0.9～1.0	
	GS (階調シフト)	-0.2～-0.1	
	RN /MRB (周波数ランク)	4/C	
	RE /MRE (周波数強調度)	0/0	
	CRF (鮮鋭度フィルター)	F	
	DRN /MDB	2/A	
	DRT /MDT	B/B	
	DRE /MDE	0.0～0.6/0.0～0.6	

メーカー毎画像処理条件 (50音順)			
	パラメータ	撮像表示条件	
メシ デー イメ ン ス 旭	SF	0/***	
	H	0/***	
	LUT	8	
	W	2300～3300	
	C	1900～2300	
① ジス ヤケ パ ン・ ヘル	Contrast (C)	119～130	
	Brightness (B)	152～157	
	Edge (E)	1	
② ジス ヤケ パ ン・ ヘル	Contrast (C)	119～130	
	Brightness (B)	152～157	
	Edge (E)	1	
	Tissue Equalization (TE)	0～40/0～20, 0/0	
東 芝 ス メ デ イ ズ カ ル シ	WL	1800～2400	
	WW	1200～2800	
	G	07	
	D	0 or AH0L0～AH0L2 (0 or HOL1～HOL2)	
	I (F)	0	
	E	00	
日 立 メ デ イ コ	フィルター	0～3	
	マスクサイズ	5	
	DRC	0～4	
	γ	3	
	WL	2100	
	WW	3850	
① ク ス ジ ヤ ン	Density (D)	15～17	
	Gamma (G)	40～45	
	NC (N)	00～03	
	DCE	0	
② ク ス ジ ヤ ン	Density (D)	15～17	
	Gamma (G)	40～45	
	NC (N)	00～03	
	DC	40～45 (Gと同じ値)	
	CB	10～05	
① フ イ ル ム	GA (回転量)	0.9～1.0	
	GS (階調シフト)	-0.2～-0.1	
	RN (周波数ランク)	4	
	RE (周波数強調度)	0	
	CRF (鮮鋭度フィルター) ※直接変換型のみに適用	F	
② 富 士 フ イ ル ム	GA (回転量)	0.9～1.0	
	GS (階調シフト)	-0.2～-0.1	
	RN /MRB (周波数ランク)	4/C	
	RE /MRE (周波数強調度)	0/0	
	CRF (鮮鋭度フィルター) ※直接変換型のみに適用	F	
	DRN /MDB	2/A	
	DRT /MDT	B/B	
	DRE /MDE	0.0～0.6/0.0～0.6	

判 定 (適 ・ 否)
 確認年月日 (年 月 日)

CR撮像表示条件確認表

申請者名

撮影日(. .)

		審査受付条件	申請者の 撮影表示条件
撮 影 条 件			
撮影条件	電 圧 [kV]	110～140	
	焦点被写体間距離[cm]	180～200	
装置等	(1)グリッド		
	高密度グリッド使用で撮影電圧が120[kV]前後	格子比 12:1	
	上記以上の撮影電圧	格子比 14:1	
	(2)空間分解能(画素数)		
	フィルムサイズがフルサイズ(半切)の場合、イメージングプレート読み取り画素数[pixel]	3500×3500以上	
画 像 処 理 条 件			
階調処理	肺野部の最高濃度	1.6～2.0程度	
周波数処理	低空間周波数(0周波数)成分に対して高周波成分(0.2cycle/mm以上)におけるレスポンス (なお、濃度に応じて周波数応答を変化させる場合であっても、右記範囲内であること。)	1.0～1.2倍程度	
そ の 他			
富士フィルム ①	回転量(GA)	0.9～1.0	
	階調シフト(GS)	-0.2～-0.1	
	周波数強調度(RE)	0.0～0.2	
	周波数ランク(RN)	4	
富士フィルム ②	回転量(GA)	0.9～1.0	
	階調シフト(GS)	-0.2～-0.1	
	周波数強調度(RE /MRE)	0.0～0.2/0	
	周波数ランク(RN /MRB)	4/C	
	DRN /MDB	2/A	
	DRT /MDT	B/B	
	DRE /MDE	0.0～0.6/0.0～0.6	
コニカミノルタ エムジー①	肺野濃度	1.6～1.8	
	強調度	0.1～0.3	
	マスクサイズ	7	
	LUT	THX-2	
コニカミノルタ エムジー②	肺野濃度	1.6～1.8	
	HEタイプ	HE-STANDARD2	
	HE強調度(低濃度側強調)	0.00～0.30	
	HE強調度(高濃度側強調)	0.00	
	HFタイプ	HF-STANDARD5	
	HF強調度(低濃度側強調)	0.00	
	HF強調度(高濃度側強調)	0.00～0.30	
	LUT	THX-2	

ケアストリー ムヘルス	Density Shift	-0. 3				
	Contrast Factor	1. 6~1. 8				
	Matrix Size	35~75				
	High Density Boost	0. 05~0. 1				
	Low Density Boost	0. 00~0. 05				
ケアストリー ムヘルス	※	①	②	③	④	
	Brightness	6	6	6	7	
	Latitude	-4~2	-4~2	-6	-5	
	Detail Contrast	-7	-8	-6	-6	

※①～④いずれかの条件を満たす必要がある。例えば①
の条件で提出した場合、Brightness 6 Latitude-4 Detail
Contrast -7である必要がある。

判定(適 ・ 否)

確認年月日(年 月 日)

じん肺健康診断等のための DR (FPD) 撮像表示条件

1 撮影条件:

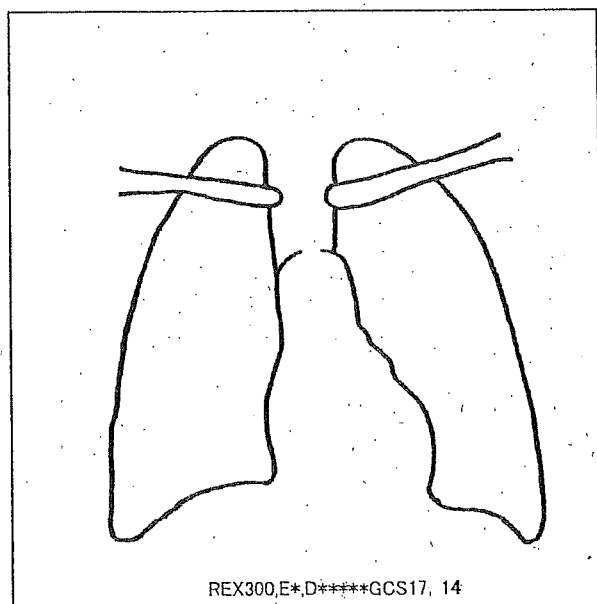
電圧	110~140 [kV]
焦点被写体間距離	180~200 [cm]
出力サイズ	ライフサイズ (半切または大角フィルム)
撮影倍率	等倍撮影 (縮小撮影は認めない)
撮影条件表示	出力フィルムに「メーカー毎画像処理条件」が分かるように表示すること (メーカー毎に後述)
グリッド	限定しない (じん肺診査ハンドブックのグリッドの条件にも制約されない)
空間分解能	限定しない

2 画像処理条件 (一般的表記):

階調処理	肺野部の最高濃度を 1.6~2.0 程度とすること
周波数処理	マルチ周波数等処理を行わないこと

3 メーカー毎画像処理条件 (50 音順):

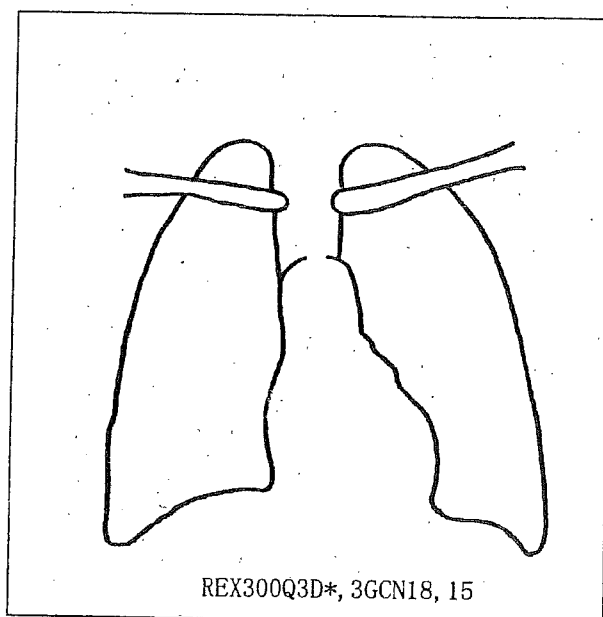
	パラメータ	撮像表示条件
キヤノン①	E	*あるいは 1
	D	*****
	対応濃度 (GCS に続く数値)	17~20
	コントラスト (上記に続く数値)	14~17



表示場所: 可変

表示例: 例えば写真中央下部などに
「REX300, E*, D**** GCS17, 14」などと表
示される。REX に続く数値は条件には関係な
く, Eは*あるいは 1, Dは*****と表示され,
GCSの後は 17~20, 14~17の幅で表示される。

キヤノン②	パラメータ	撮像表示条件
	強調度	OFF
	強調周波数	OFF
	ノイズ低減	OFF
	ダイナミックレンジ調整 (高濃度)	OFF
	ダイナミックレンジ調整 (低濃度)	0~3
	対応濃度	17~20
	コントラスト	14~17



表示場所：可変

REXに続く数値は条件に関係なくQ3は固定。

ダイナミックレンジ圧縮（低濃度）を使用する場合にはDに続いて*, 1, *, 2, *, 3などと表示され、GCNの後は17~20、14~17の幅で表示される。

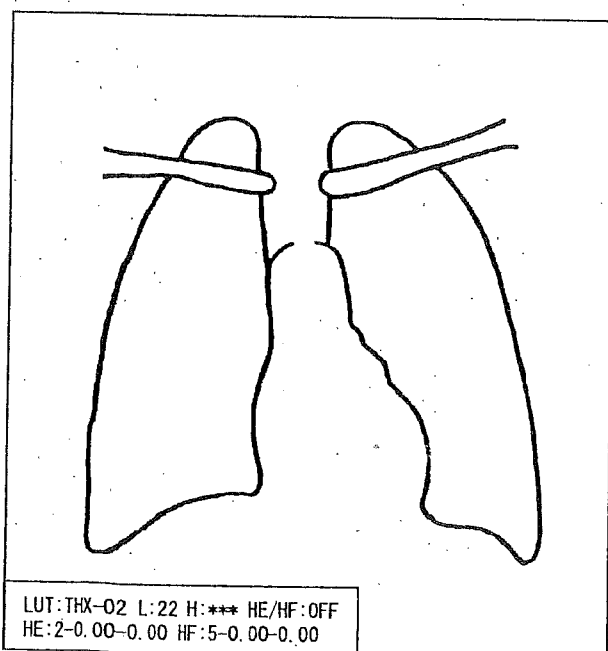
表示例：

例えば写真下部などに「REX300Q3GCN17, 14」

「REX300Q3D*, 1GCN17, 14」「REX300Q3D*, 2GCN18, 15」

「REX300Q3D*, 3GCN17, 15」などと表示される。

コニカミノルタ エムジー①	パラメータ	撮像表示条件
	肺野濃度 (H)	1.6~1.8
	周波数強調度 (HF)	0.0
	周波数強調タイプ (HF)	OFF
	LUT	THX-2



表示場所：可変

表示例：たとえば写真左下部などに

検査日時

患者氏名 性別

生年月日 患者 ID

LUT:THX-02 L:22 H:*** HE/HF:OFF

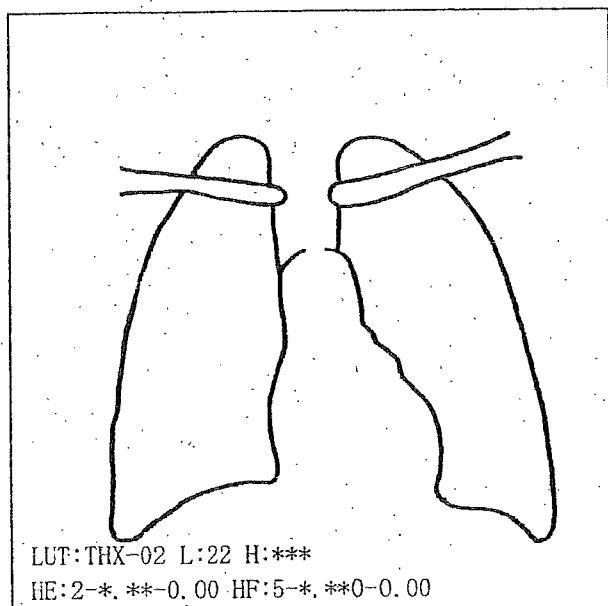
HE:2-0.00-0.00 HF:5-0.00-0.00

のように表示される。

ここで、LUT:の後はLUTの種別を(THX-02で固定)、H:の後の***が肺野濃度の100倍の数値を示す。

他の数値については、HE/HFはOFF、HEおよびHFの値は*-0.00-0.00(*は任意)でなくてはならない。なお、L:の後は中央濃度の100倍の数値を示す。

コニカミノルタ エムジー②	パラメータ	撮像表示条件
	肺野濃度 (H)	1.6~1.8
	HF タイプ	OFF
	HF 強調度 (低濃度側強調)	0.00
	HF 強調度 (高濃度側強調)	0.00
	HE タイプ	HE-STANDARD2
	HE 強調度 (低濃度側強調)	0.00~0.30
	HE 強調度 (高濃度側強調)	0.00
	LUT	THX-2



表示場所： 可変

表示例：例えば写真左下部などに

検査日時

患者氏名 性別

生年月日 患者 ID

LUT:THX-02 L:22 H:***

HE:2-*,**-0.00 HF:5-*,**0-0.00

のように表示される。

ここで、LUT:の後が LUT の種別を (THX-02 で固定)。

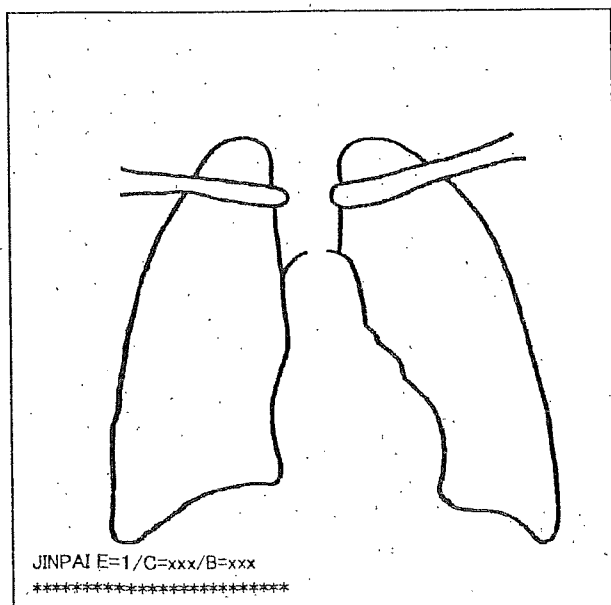
H: の後の***が肺野濃度の 100 倍の数値を示す。

なお、L: の後は中央濃度の 100 倍の数値を示す。

HE の値*,**の範囲は 0.00~0.30。

HF の値*,**の範囲は 0.00。

コニカミノルタ エムジー③	パラメータ	撮像表示条件
	Contrast (C)	119~130
	Brightness (B)	152~157
	Edge (E)	1

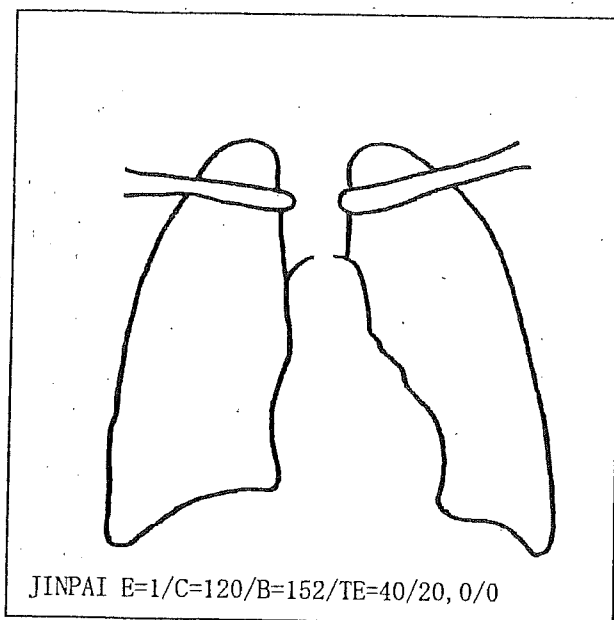


表示場所： 可変

表示例：例えば写真左下部に「JINPAI E=1 / C=119 / B=152」などと表記される。

C は 119~130, B は 152~157 の幅で表示され、E は 1 と表示される。

コニカミノルタ エムジー④	パラメータ	撮像表示条件
	Contrast (C)	119~130
	Brightness (B)	152~157
	Edge (E)	1
	Tissue Equalization (TE)	0~40/0~20、0/0



表示場所：可変

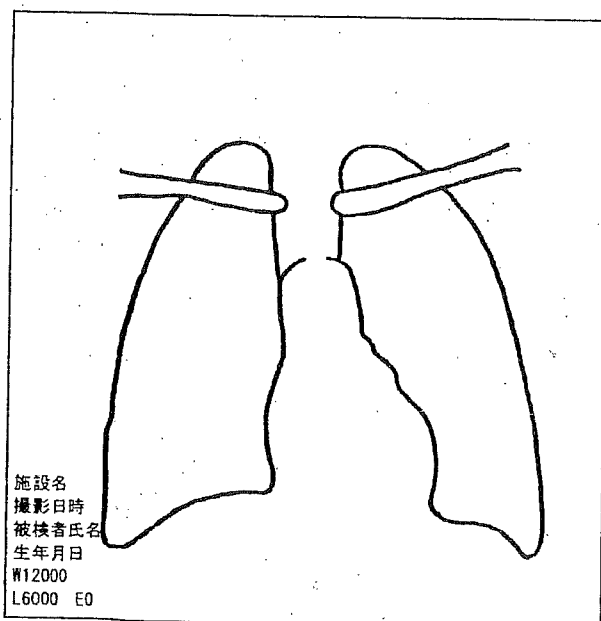
表示例：例えば写真左下部に

「JINPAI E=1/C=120/B=152/TE=40/20, 0/0」
などと表記される。

Cは119~130, Bは152~157の幅で表示され、
Eは1と表示される。

TEは、0~40/0~20, 0/0と表示される。

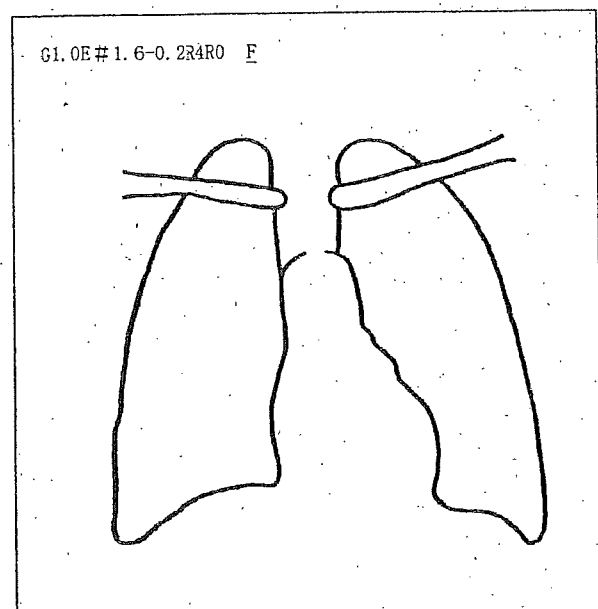
島津製作所①	パラメータ	撮像表示条件
	W	11500~12500
	L	6000~6500
	E	0



表示場所：写真左下部

表示例：例えば「W12000 L6000, E0」な
どと出力される。Wは11500~12500, Lは
6000~6500の幅で表示され、Eは0と表示
される。

島津製作所②	パラメータ	撮像表示条件
	GA (回転量)	0.9~1.0
	GS (階調シフト)	-0.2~-0.1
	RN (周波数ランク)	4
	RE (周波数強調度)	0
	CRF (鮮鋭度フィルター)	F

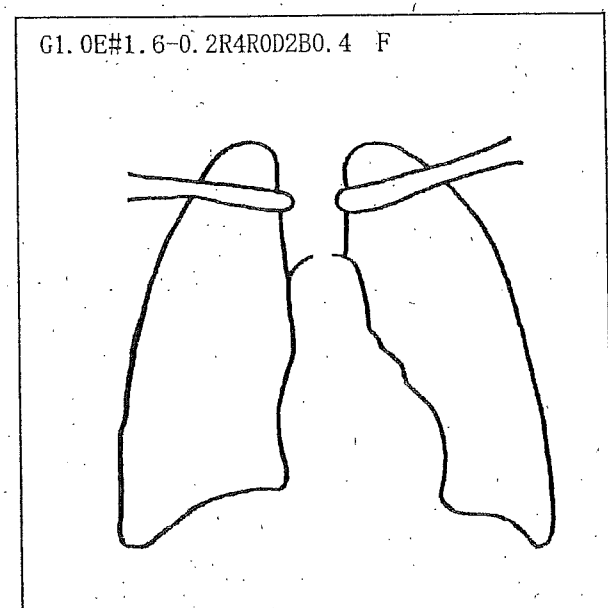


表示場所:可変

表示例:例えば写真左上部などに「G1.0E#1.6-0.2R4R0 F」などと表示され、

「G (GA) #1.6 (GS) R (RN) R (RE) (CRF)」に対応する。GA は、0.9~1.0、GS は、-0.1~-0.2 の幅で表示される。

島津製作所③	パラメータ	撮像表示条件
	GA (回転量)	0.9~1.0
	GS (階調シフト)	-0.2~-0.1
	RN/MRB (周波数ランク)	4/C
	RE/MRE (周波数強調度)	0/0
	CRF (鮮鋭度フィルター)	F
	DRN/MDB	2/A
	DRT/MDT	B/B
	DRE/MDE	0.0~0.6/0.0~0.6

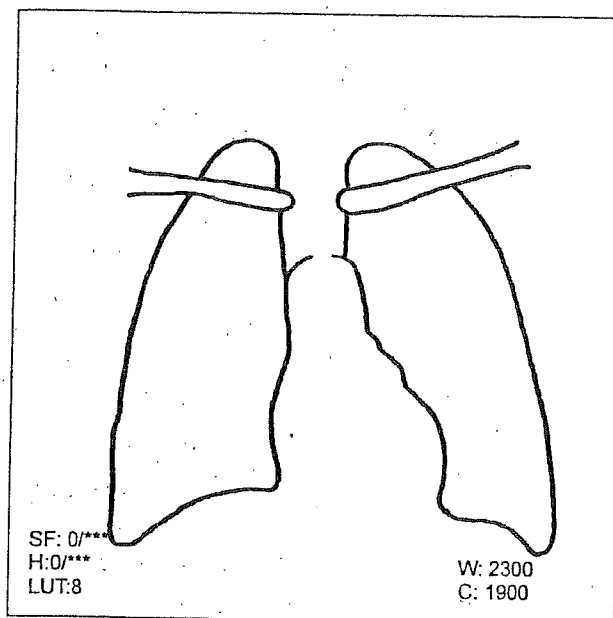


表示場所:可変

表示例:例えば写真左上部などに「G1.0E#1.6-0.2R4R0D2B0.4 F」などと表示され、「G (GA) E#1.6 (GS) R (RN) R (RE) D2B (DRE) (CRF)」に対応する。

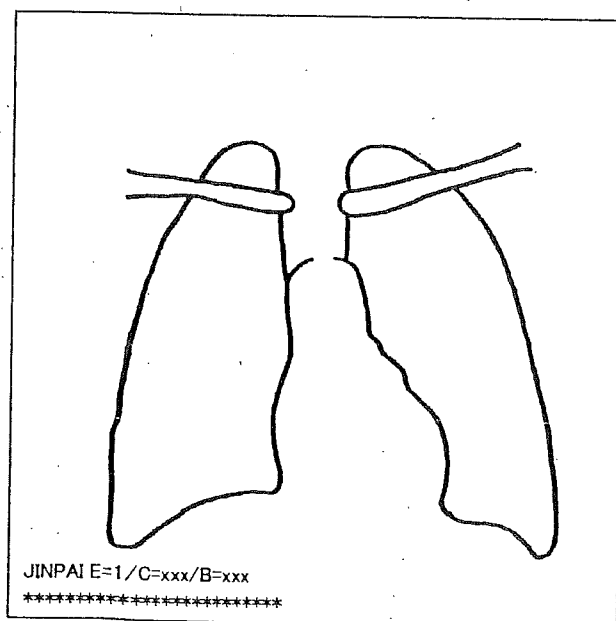
GA は、0.9~1.0、GS は、-0.1~-0.2DRE は 0.0~0.6 の幅で表示される。

シーメンス旭メ ディテック	パラメータ	撮像表示条件
	SF	0/***
	H	0/***
	LUT	8
	W	2300~3300
	C	1900~2300



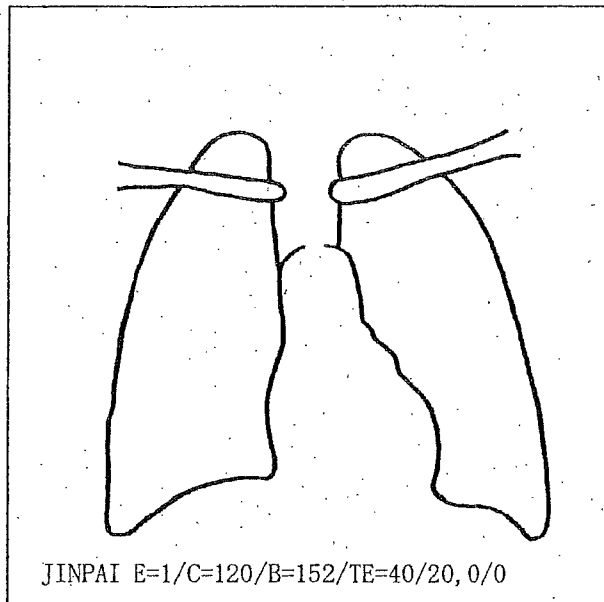
表示場所： フィルム面の左下と右下
 表示例： SFは 0/***, Hは 0/***と表示され,
 Wは 2300~3300, Cは 1900~2300 の幅で表示
 される。

GE ヘルスケア・ ジャパン①	パラメータ	撮像表示条件
	Contrast (C)	119~130
	Brightness (B)	152~157
	Edge (E)	1



表示場所： 可変
 表示例： 例えば写真左下部に「JINPAI E=1
 / C=119 / B=152」などと表記される。C は
 119~130, Bは 152~157 の幅で表示され, E
 は 1 と表示される。

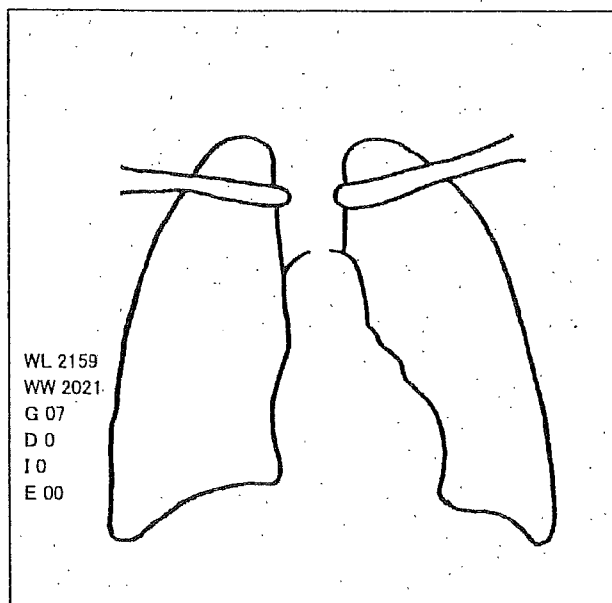
GE ヘルスケア・ ジャパン②	パラメータ	撮像表示条件
	Contrast (C)	119~130
	Brightness (B)	152~157
	Edge (E)	1
	Tissue Equalization (TE)	0~40/0~20、 0/0



表示場所： 可変

表示例： 例えば写真左下部に「JINPAI E=1 / C=119 / B=152」などと表記される。C は 119~130, B は 152~157 の幅で表示され, E は 1 と表示される。

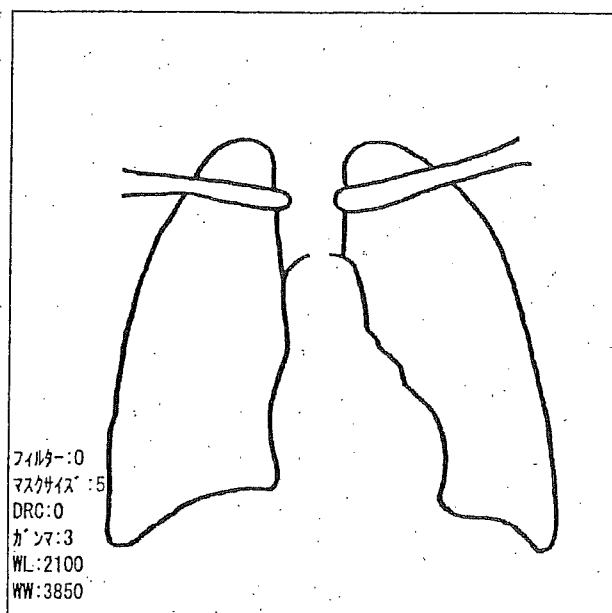
東芝メディカル システムズ	パラメータ	撮像表示条件
	WL	1800~2400
	WW	1200~2800
	G	07
	D	0 or AHOL0~AHOL2 (0 or HOL1~HOL2)
	I (F)	0
	E	00



表示場所： 可変

表示例： 例えば写真左下部に「WL2159, W2021, G07, DAHOL2, I0, E00」などと表示される。WL は 1800~2400, WW は 1200~2800 の幅で表示され, G は 07 と表示され, D は 0 あるいは AHOL0~AHOL2 の幅で表示され(バージョンにより 0 or HOL1~HOL2 の幅で表示される), I (バージョンにより F と表示される) は 0, E は 00 と表示される。

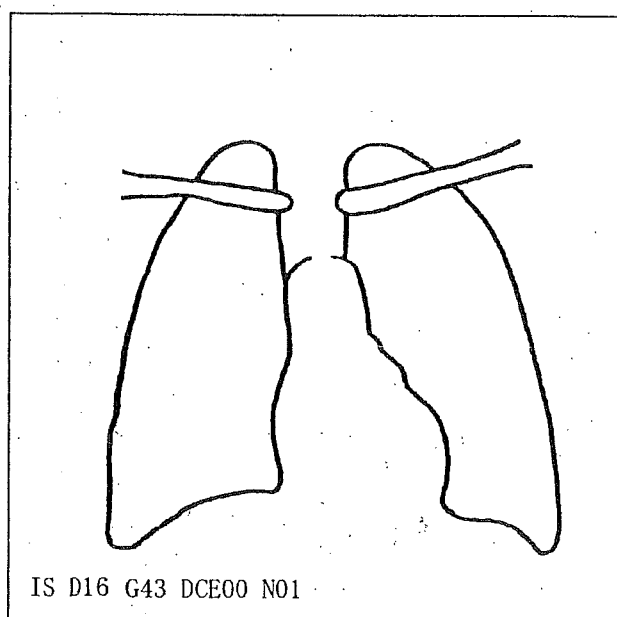
日立メディコ	パラメータ	撮像表示条件
	フィルター	0~3
	マスクサイズ	5
	DRC	0~4
	γ	3
	WL	2100
	WW	3850



表示場所：4隅のうちの1箇所

表示例:フィルターは0~3の幅で表示され、マスクサイズは5、DRCは0~4の幅で表示され、 γ は3、WLは2100、WWは3850と表示される。

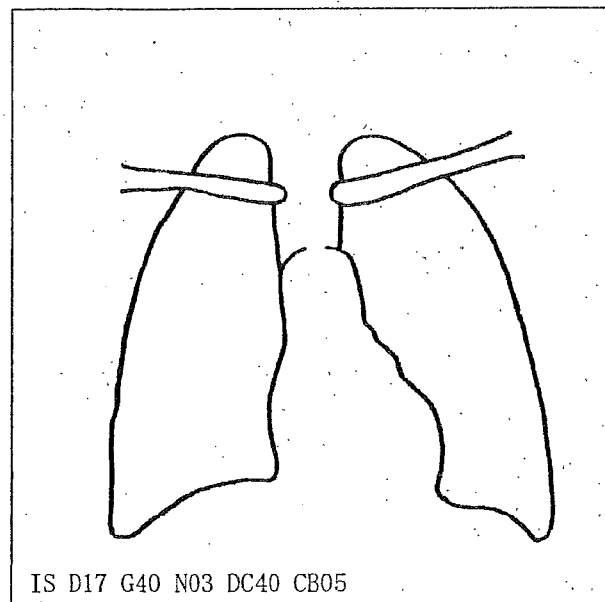
フィリップスエレクトロニクス ジャパン①	パラメータ	撮像表示条件
	Density (D)	15~17
	Gamma (G)	40~45
	NC (N)	00~03
	DCE	00



表示場所：写真下部左

表示例：例えば「IS D16 G43 DCE00 N01」などと表示される。Dは15~17、Gは40~45、Nは00~03の幅で表示され、DCEは00と表示される。

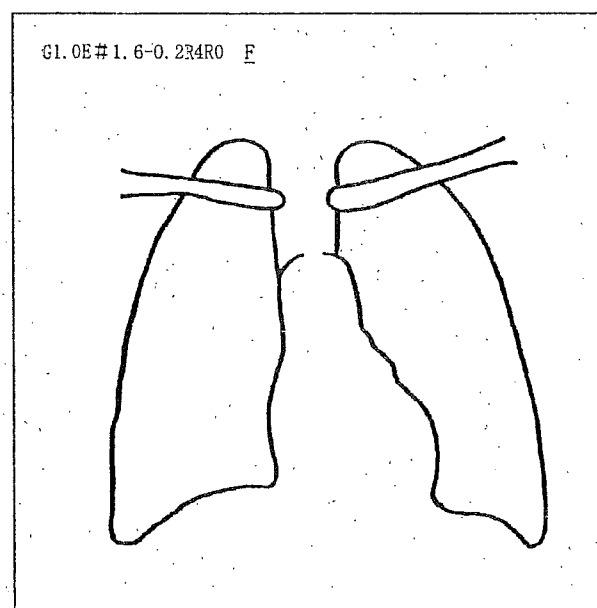
フィリップスエレクトロニクス ジャパン①②	パラメータ	撮像表示条件
	Density (D)	15~17
	Gamma (G)	40~45
	NC (N)	00~03
	DC	40~45 (Gと同じ値)
	CB	10~05



表示場所：写真下部左

表示例：例えば「IS D17 G40 N03 DC40 CB05」などと表示される。Dは15~17、Gは40~45、Nは00~03、DCはGと同じ値で40~45、CBは10~05の幅で表示される。

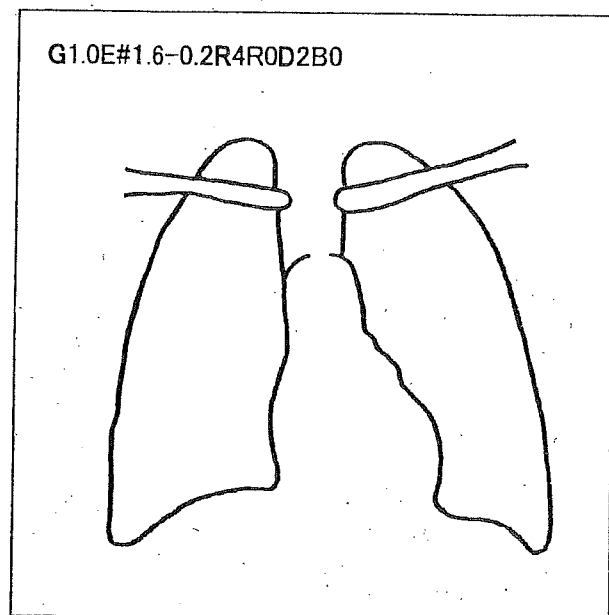
富士フイルム①	パラメータ	撮像表示条件
	GA (回転量)	0.9~1.0
	GS (階調シフト)	-0.2~-0.1
	RN (周波数ランク)	4
	RE (周波数強調度)	0
	CRF (鮮鋭度フィルター) ※直接変換型のみに適用	F



表示場所：可変

表示例：例えば写真左上部などに「G1.0E #1.6-0.2R4R0 F」などと表示され、「G (GA) #1.6 (GS) R (RN) R (RE) (CRF)」に対応する。GAは、0.9~1.0、GSは、-0.1~-0.2の幅で表示される。

富士フィルム②	パラメータ	撮像表示条件
	GA (回転量)	0.9~1.0
	GS (階調シフト)	-0.2~-0.1
	RN/MRB (周波数ランク)	4/C
	RE/MRE (周波数強調度)	0/0
	CRF (鮮鋭度フィルター) ※直接変換型のみに適用	F
	DRN/MDB	2/A
	DRT/MDT	B/B
	DRE/MDE	0.0~0.6/0.0~0.6



表示場所: 可変

表示例: 例えば写真左上部などに「G1.0E #1.6-0.2R4R0 F」などと表示され、「G (GA) #1.6 (GS) R (RN) R (RE) (CRF)」に対応する。GA は、0.9~1.0、GS は、-0.1~-0.2 の幅で表示される。